



# プリンタードライバー 操作手順書

Prioa LP3145DN

Prioa LP4140DN

## 使用条件

本書のすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

本書に含まれる情報は、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

## 商標について

Prioa、 および  は、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、および Active Directory® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

ここで使用されているその他のすべてのブランド名および製品名は、それを所有する各企業の登録商標または商標です。

# 目次

## 第 1 章 : 製品概要

---

ドキュメント.....	1-1
規則.....	1-1
システム要件.....	1-1

## 第 2 章 : インストール

---

ドライバー.....	2-1
ドライバーのインストールを準備する.....	2-1
SNMP 設定.....	2-2
SNMP 設定を選択する.....	2-2
エクスプレスインストール.....	2-3
エクスプレスインストールを使用してインストールする.....	2-3
カスタムインストール.....	2-4
カスタムインストールを使用してインストールする.....	2-4
配布用のインストールパッケージを作成する.....	2-6
アップグレード.....	2-7
ドライバーとユーティリティーをアップグレードする.....	2-7
メンテナンス.....	2-7
オプションプリンターコンポーネント.....	2-8
ドキュメント.....	2-8
アンインストール.....	2-8
ドライバーコンポーネントをアンインストールする.....	2-8
プリンタードライバーの設定について.....	2-9
デフォルトのドライバー設定を変更する.....	2-9

## 第 3 章 : 印刷設定サマリー

---

HTML ヘルプ.....	3-1
PDL (ページ記述言語).....	3-1
ページ記述言語 (PDL) を選択する.....	3-5
設定リスト.....	3-5
印刷プレビュー.....	3-5
印刷ジョブをプレビューする.....	3-5
バージョン情報ダイアログ.....	3-6
バージョン情報を表示する.....	3-6
プラグイン情報を表示する.....	3-6

## 第 4 章 : デバイス設定

---

デバイス設定にアクセスする.....	4-1
--------------------	-----

デバイスオプション.....	4-1
使用できるオプションを設定する.....	4-1
ユーザーボックスを設定する.....	4-1
自動設定.....	4-2
自動設定を有効にする.....	4-3
メモリー.....	4-3
メモリーを設定する.....	4-3
RAM ディスク.....	4-3
RAM ディスクを設定する.....	4-4
管理者設定.....	4-4
一般.....	4-4
簡単設定タブを表示する.....	4-4
カウント情報を送信する.....	4-4
アプリケーション名を発行する.....	4-5
アプリケーション別の印刷設定を有効にする.....	4-5
パスワードで管理者設定を保護する.....	4-5
初期設定プロフィールを隠す.....	4-6
下のペインを隠す.....	4-6
SNMP 設定.....	4-6
SNMPv3 のオプション.....	4-7
ジョブのメール通知.....	4-8
メール通知オプションを選択する.....	4-8
ロック設定.....	4-8
ロック設定のオプション.....	4-9
ドライバー設定をロックする.....	4-9
ユーザー管理.....	4-10
ユーザー管理のオプション.....	4-10
ユーザー管理を使用して印刷する.....	4-11
部門管理.....	4-12
部門管理オプション.....	4-12
部門コードリストを取得する.....	4-13
部門コードを追加または編集する.....	4-14
部門管理を使用して印刷する.....	4-14
ユーザー設定.....	4-15
ユーザー登録.....	4-15
単位.....	4-15
PDL (ページ記述言語).....	4-16
ページ記述言語 (PDL) を選択する.....	4-16
互換性設定.....	4-16
給紙方法の設定.....	4-16
「フェイスアップ出力時の逆順出力しない」を設定する.....	4-17
ドライバーのソート設定を優先する.....	4-17
給紙元リストにメディアタイプも表示する.....	4-17
混在する用紙サイズを回転する.....	4-18
プラグインを削除する.....	4-18

## 第 5 章 : 簡単設定

簡単設定オプション.....	5-1
印刷の向き.....	5-2
ソート.....	5-2
両面印刷.....	5-2
ページ集約.....	5-3
エコプリント.....	5-3
簡単設定オプションの編集/追加.....	5-4
簡単設定オプションを選択する.....	5-4

プロファイル.....	5-4
プロファイルを選択する.....	5-5
プロファイルを保存する.....	5-5
初期設定プロファイルを編集する.....	5-5
プロファイルを削除する.....	5-6
プロファイルをインポートする.....	5-6
プロファイルをエクスポートする.....	5-6
アプリケーション別の印刷設定.....	5-7

## 第 6 章 : 基本設定

---

出力用紙サイズ.....	6-1
原稿サイズ.....	6-2
カスタム原稿サイズを作成する.....	6-2
カスタム原稿サイズを削除する.....	6-2
カスタムサイズの用紙を使用して印刷する.....	6-3
使用状況でリスト.....	6-3
給紙元.....	6-3
用紙種類.....	6-3
排紙先.....	6-4
部数.....	6-4
カーボンコピー.....	6-4
カーボンコピーを印刷する.....	6-4
一括コピー.....	6-5
一括コピーで印刷する.....	6-5
ソート.....	6-6
文書をソートする.....	6-6
印刷の向き.....	6-7
両面印刷.....	6-7
両面印刷モードで印刷する.....	6-8
エコプリント.....	6-8

## 第 7 章 : レイアウト

---

ページ集約.....	7-1
ページ集約印刷する.....	7-2
縮小/拡大.....	7-2
ページ内での縮小/拡大を設定する.....	7-2
とじしろ設定.....	7-2
とじしろを作成する.....	7-3
ポスター.....	7-3
ポスターを印刷する.....	7-4
製本.....	7-5
製本を印刷する.....	7-6

## 第 8 章 : 印刷品質

---

印刷品質とカスタム品質.....	8-1
印刷品質の選択.....	8-2
フォント詳細設定.....	8-2
フォント詳細設定オプション.....	8-3
フォント詳細設定を選択する.....	8-4
フォント代替えを設定する.....	8-4
プリンターフォントを無効にする.....	8-4
グラフィック詳細設定.....	8-5

パターンスケーリング.....	8-5
細線化.....	8-5
反転のオプション.....	8-6
イメージデータ方式.....	8-6
CIE オプション.....	8-7
半速モード.....	8-7
エコプリント.....	8-7
白黒印刷のバランス調整.....	8-8
白黒設定を調整する.....	8-8
テキストと図の効果.....	8-8

## 第 9 章 : 表紙/合紙

表紙付け.....	9-1
表紙付けオプション.....	9-2
表紙を印刷する.....	9-5
OHP 合紙.....	9-5
OHP フィルム間に合紙を挿入する.....	9-5
合紙.....	9-6
合紙印刷の組み合わせ.....	9-6
合紙を印刷する.....	9-7
章分けの挿入.....	9-7
章 (指定したページ) で分けて印刷する.....	9-8

## 第 10 章 : ジョブ保存

ジョブ拡張機能.....	10-1
ジョブ拡張機能のオプション.....	10-2
ユーザーボックス.....	10-2
ユーザーボックスにジョブを保存する.....	10-3
クイックコピー.....	10-4
クイックコピージョブを印刷する.....	10-4
試し刷り後、保留.....	10-4
試し刷り後、保留ジョブを印刷する.....	10-5
プライベートプリント.....	10-5
プライベートプリントジョブを保管する.....	10-5
ジョブ保留.....	10-6
ジョブ保留ジョブを保管する.....	10-6
ユーザー管理.....	10-7
ユーザー管理を使用して印刷する.....	10-7
部門管理.....	10-7
部門管理を使用して印刷する.....	10-7
ジョブ名.....	10-8
アプリケーション名をジョブ名に使用しない.....	10-8
上書きモード.....	10-8
ジョブ名を選択する.....	10-8

## 第 11 章 : 拡張機能

プロローグ/エピローグ.....	11-1
挿入箇所オプション.....	11-2
プロローグ/エピローグファイルの選択および割り当てをする.....	11-3
プロローグ/エピローグファイルを編集する.....	11-3
プロローグ/エピローグファイルを削除する.....	11-3
ウォーターマーク.....	11-4

ウォーターマーク文字列を追加または編集する.....	11-4
ウォーターマークイメージを追加または編集する.....	11-5
セキュリティ・ウォーターマーク.....	11-6
セキュリティ・ウォーターマークを追加または編集する.....	11-7
ステータスマニター通知.....	11-9
ステータスマニター通知を設定する.....	11-9
ステータスマニターを表示する.....	11-9
EMF スプール.....	11-10
EMF スプールを選択する.....	11-10
静音モード.....	11-10
クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする.....	11-11
クライアント・プロファイルを有効にする.....	11-11



# 1 製品概要

プリンタードライバーは、コンピューターとプリンター間の通信を管理するアプリケーションです。このアプリケーションは、印刷前にファイルの調整を行うために使用します。



---

お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

---

## ドキュメント

本書では以下を説明します。

- サポートされている Windows オペレーティングシステムでのプリンタードライバーのインストールと使用。
- Product Library、プリンターのプロパティ、および印刷設定での操作方法。

本書は、システム管理者と他のすべてのユーザーを対象としています。

## 規則

本ガイドでは、次の規則を使用します。

- メニュー項目とボタンには、【メニュー項目/ボタン名】を使用します。
- 画面、テキストボックス、およびドロップダウンメニューのタイトルは、画面上で表示されるとおりに表記します。
- ドキュメントのタイトルには、『』を使用します。
- アイコンは、特定の情報に注意を向けるために使用されます。次のような例があります。



---

この「メモ」アイコンは、知っておくと便利な情報を示します。

---



---

この「注意」アイコンは、知っておく必要のある重要な情報を示します。これには、手順が適切に行われなかった場合のデータ消失などが含まれます。

---

## システム要件

この製品に伴う『リリースノート』または『ReadMe』を参照してください。



## 2 インストール

2つのインストールオプションを使用できます。

### エクスペレスインストール

あらかじめ選択されたドライバーのセットやパッケージ形式にまとめたユーティリティをインストールすることができます。

### カスタムインストール

任意のドライバーやユーティリティをインストールしたり、既存アプリケーションをアップグレードしたりできます。特定のユーティリティの実行、文書のアクセス、およびアプリケーションのアンインストールもできます。

インストールが完了したら、必ずプリンターのプロパティおよび印刷設定画面でプリンタードライバーを構成してください。



- **Windows** にアプリケーションをインストールする場合は、管理者権限が必要です。
- アップグレードは、アップグレードが必要な製品がある場合にだけ利用できます。クライアント/サーバー環境では、サーバーから古いドライバーをアップグレードできますが、クライアントコンピューターからはできません。詳しくは、プリンターの販売店にお問い合わせください。
- お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

## ドライバー

サポートされている Windows オペレーティングシステムの場合、認証ドライバーが使用可能でシステムがウェブに接続している環境では、ドライバーは **Microsoft Windows Update** からインストールできます。

ドライバーの拡張機能を利用できるように、**Product Library** ディスクから、プリンタードライバーを続けてインストールすることを推奨します。**Windows** で、「新しいハードウェアの検索ウィザード」ダイアログボックスが開いた場合は、**【キャンセル】** をクリックします。ハードウェアのインストール警告ダイアログボックスが開いたら、**【このドライバーソフトウェアをインストールします】** をクリックします。

## ドライバーのインストールを準備する

- 1 コンピューターとプリンターの電源を入れます。
- 2 **Product Library** ディスクをディスクドライブに入れます。
- 3 インストーラーを実行します。インストーラーがお使いのコンピューターに変更を加えることができるよう許可する必要がある場合があります。



インストーラが起動しない場合、エクスプローラーでディスクドライブに移動して Setup.exe を実行します。

- 4 使用許諾契約書を読み、同意します。
- 5 システム構成に応じて、使用可能な言語のリストから選択できます。

## SNMP 設定

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御する、アプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリンターなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して保存します。

SNMP 設定アイコンで、プリンターの検出中に使用される SNMPv1/v2 リードコミュニティ名を指定できます。この名称は、SNMP 通信のパスワードとして使用されます。デフォルトの名前は、public です。

また、利用可能なオプションを選択して、SNMPv3 暗号化と認証を指定することもできます。

検出中または少なくとも 1 つの検出プリンターがデバイスリストに追加されている場合、SNMP 設定アイコンは使用できません。



インストール中に選択された SNMP 設定は、【プリンターのプロパティ】>【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】の SNMP 設定には影響しません。

## SNMP 設定を選択する

- 1 Product Library で、【エクスプレスインストール】または【カスタムインストール】を選択します。
- 2 プリンターリストで、【SNMP 設定】を選択し、次のオプションから選択します。

### SNMPv1/v2 を使用

リードコミュニティ名を指定します。

### SNMPv3 を使用

ユーザー名とパスワードを指定します。必要に応じて、認証とプライバシーのオプションを指定します。【初期値に戻す】を選択すると、デフォルト設定に戻ります。

- 3 【OK】を選択します。



異なるリードコミュニティ名を指定した場合、プリンターリストがクリアされます。【更新】を選択すると、プリンターを再検出します。

## エクスプレスインストール

エクスプレスインストールは、USB またはネットワーク接続されているプリンター、ドライバー、およびユーティリティを簡単にインストールします。同時に 1 つ以上の機能をインストールできます。

インストーラーで目的のプリンターが見つからない場合、システム管理者にお問い合わせください。



OS によっては、ステータスマニターを使用するために、Microsoft .NET Framework 4.0 以降をインストールする必要があります。

## エクスプレスインストールを使用してインストールする



お使いのプリンターとコンピューターの電源がオンになっていること、USB、ネットワーク、またはパラレルケーブルで接続されていることを確認します。パラレル接続は、一部のプリンターでのみ使用できません。

- 1 Product Library で、**[エクスプレスインストール]** を選択します。
- 2 リストから目的のプリンターを選択します。  
プリンターが検出されない場合、次のいずれかを行います。
  - USB、ネットワークまたはパラレルケーブルの両端を一度外してから、再挿入します。**[更新]** を選択すると、プリンターを再検出します。
  - 検索ボックスで、プリンターモデル、IP アドレス、ホスト名、または USB ポートを指定します。目的のプリンターが検出された場合は、それを選択します。
- 3 **[ポート名にホスト名を使用]** を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用できます。このオプションは USB 接続では使用できません。
- 4 機能のリストを確認または変更をします。
- 5 選択項目を確認し、**[インストール]** を選択します。
- 6 インストールが正しく終了すると、次のオプションを選択します。

テストページを印刷

**Windows** プリンターテストページ を印刷し、プリンターの接続と動作をテストします。

両面印刷を有効にする

ドライバーはデフォルトで両面印刷モードに設定されます。デフォルト以外の設定は、あとでドライバーの簡単設定または基本設定タブでオプションを選択して設定できます。

イベント通知を有効にする

ステータスマニター通知を有効にします。

#### 簡単設定タブを表示する

簡単設定タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時にすばやく呼び出して使用できるようにします。「簡単設定タブを表示する」オプションは、【プリンターのプロパティ】>【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】でも表示されます。

オプションを展開し、以下から選択します。

- 【初期画面を簡単設定タブにする】
- 【初期画面を基本設定タブにする】
- 【簡単設定タブ以外を隠す】

#### 7 【完了】を選択します。

インストールに失敗した場合、問題を解決し、プロセスを繰り返します。必要に応じて、システム管理者にお問い合わせください。

## カスタムインストール

カスタムインストールは、USB、ネットワーク接続、またはパラレル接続 (一部のプリンターのみで使用可能) されているプリンター、ドライバー、およびユーティリティーを任意にインストールします。インストーラーは、USB またはネットワークケーブルで接続され、電源の入ったプリンターを検出しますが、プリンターとポート名を手動で選択することもできます。

デバイスリストから 1 つ以上のプリンターをインストールするプロダクトに追加することができます。また、【ユーティリティー】を選択すると、プリンターまたはドライバーなしでユーティリティーをインストールすることができます。

アップデートが必要なコンピューターが多数ある場合、インストールボタンの横にある矢印をクリックして、「インストールするプロダクト」のすべてのドライバーとユーティリティーコンポーネントのパッケージファイル (.exe) を作成できます。各ユーザーがそのパッケージをコンピューター上で実行し、自動的にコンポーネントをインストールします。

インストーラーで目的のプリンターが見つからない場合、システム管理者にお問い合わせください。



OS によっては、ステータスマニターを使用するために、.NET Framework 4.0 以降をインストールする必要があります。

## カスタムインストールを使用してインストールする



お使いのプリンターとコンピューターの電源がオンになっていること、USB、ネットワーク、またはパラレルケーブルで接続されていることを確認します。パラレル接続は、一部のプリンターでのみ使用できません。

- 1 Product Library で、【カスタムインストール】を選択します。
- 2 デバイスで、目的のプリンターを選択し、インストールするプロダクトリストに追加します。

プリンターが検出されない場合、次のいずれかを行います。

- **USB**、ネットワークまたはパラレルケーブルの両端を一度外してから、再挿入します。**[更新]**を選択すると、プリンターを再検出します。
- 検索ボックスで、プリンターモデル、IP アドレス、ホスト名、または **USB** ポートを指定します。目的のプリンターが検出された場合は、それを選択します。
- **[カスタムデバイスの追加]**を選択し、以下を行います。
  - a) プリンターモデルを選択します。
  - b) ポート名を選択するか、**[ポートの追加]**を選択し、目的のシステムに接続するポートを手動で設定します。
  - c) **[OK]**を選択します。

**3** ドライバーで、1つ以上のドライバーを選択し、それをインストールするプロダクトリストに追加します。

**4** ユーティリティーで、1つ以上のユーティリティーを選択し、それをインストールするプロダクトリストに追加します。

**5** インストールするプロダクトで選択されている項目を確認します。

- **[ポート名にホスト名を使用]**を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用できます。



このオプションは、**USB 接続またはカスタムデバイスの追加で設定されたプリンターでは使用できません。**

- アイテムの横の **[編集]**を選択し、使用可能なインストールオプションを変更します。
- アイテムの横の **[削除]**を選択し、削除します。
- **[すべて削除]**を選択し、すべてのアイテムを削除します。

**6** **[インストール]**を選択します。

**7** インストールが正しく終了すると、次のオプションを選択します。

テストページを印刷

**Windows** プリンターテストページを印刷し、プリンターの接続と動作をテストします。

両面印刷を有効にする

ドライバーはデフォルトで両面印刷モードに設定されます。デフォルト以外の設定は、あとでドライバーの簡単設定または基本設定タブでオプションを選択して設定できます。

イベント通知を有効にする

ステータスマニター通知を有効にします。

簡単設定タブを表示する

簡単設定タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時にすばやく呼び出して使用できるようにします。「簡単設定タブを表示する」オプションは、**[プリンターのプロパティ]** > **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]**でも表示されます。

オプションを展開し、以下から選択します。

- 【初期画面を簡単設定タブにする】
- 【初期画面を基本設定タブにする】
- 【簡単設定タブ以外を隠す】

**8** 【完了】を選択します。

インストールに失敗した場合、問題を解決し、プロセスを繰り返します。必要に応じて、システム管理者にお問い合わせください。

## 配布用のインストールパッケージを作成する



---

お使いのプリンターとコンピューターの電源がオンになっていて、USB、ネットワーク、またはパラレルケーブルで接続されていることを確認します。パラレル接続は、一部のプリンターでのみ使用できません。

---

- 1** Product Library で、【カスタムインストール】を選択します。
- 2** デバイスで、目的のプリンターを選択し、インストールするプロダクトリストに追加します。
- 3** ドライバーを選択し、インストールするプロダクトリストに追加します。
- 4** ユーティリティで、ユーティリティを選択し、それをインストールするプロダクトリストに追加します。
- 5** インストールボタンの横の矢印を選択し、【パッケージ】を選択します。
- 6** 【参照】を選択し、パッケージをインストールするフォルダーを指定してから、パッケージ名を入力します。
- 7** 次のオプションから選択します。

サイレントインストール

インストール中の進捗画面等を表示せずにインストールを行うパッケージを作成します。

エラー発生時に通知を表示

サイレントインストール中に、エラーが発生した場合に通知します。サイレントインストールが選択されている場合のみ使用できます。

**8** 【OK】> 【完了】を選択します。

インストールパッケージを配布し、ユーザーにパッケージ名と保存した場所を通知することができます。

## アップグレード

インストーラーは、古いドライバーやユーティリティーのコンポーネントを検出します。コンポーネントを選択して、最新バージョンにアップグレードできます。アップグレードが可能な場合、【アップグレード】を選択するとリストが表示されます。

この機能は、プリンターが他のシステムから使用されていたり、プリンターのプロパティで共有されている場合は、使用できません。クライアント/サーバー環境では、サーバーから古いコンポーネントをアップグレードできますが、クライアントコンピュータからはできません。詳しくは、プリンターの販売店にお問い合わせください。

### ドライバーとユーティリティーをアップグレードする

- 1 Product Library で、【アップグレード】を選択します。
- 2 コンピューター上でアップグレードするドライバーやユーティリティーを選択します。
- 3 【アップグレード】>【完了】を選択します。

## メンテナンス

次のいずれかのオプションにアクセスします。



お使いのプリンターによっては、一部のオプションを使用できない場合があります。

#### オプションプリンターコンポーネント

共通プロファイルやプラグインモジュールを使用して、プリンタードライバーの機能を拡張できます。

#### Quick Network Setup

最も一般的なネットワーク設定を行います。

#### Maintenance Menu

印刷やスキャンの位置などの機能を調整します。

#### Configuration Tool

プリンターのデフォルト設定を変更します。

#### Wi-Fi セットアップツール

Wi-Fi の設定を構成します。

#### Scan to Folder Setup Tool for SMB

Scan to Folder の設定を構成します。

## オプションプリンターコンポーネント

オプションコンポーネントをインストールして、プリンタードライバーの機能を拡張します。

### オプションプリンターコンポーネントをインストールする

- 1 Product Library で、【メンテナンス】>【オプションプリンターコンポーネント】>【実行】に進みます。
- 2 1つ以上のプリンターを選択し、【次へ】を選択します。
- 3 各プリンターに対して、使用可能なオプションから選択します。  
【共通プロファイル】  
あらかじめ定義されている印刷設定を共通使用として選択します。  
【プラグインモジュール】  
追加のコンポーネントを選択し、ドライバー機能を強化します。
- 4 選択項目を確認し、【インストール】>【完了】を選択します。

## ドキュメント

ドライバー、ユーティリティー、およびプリンター操作手順に関するドキュメントにアクセスします。PDF ファイルの閲覧には、Acrobat Reader 8.0 以降が必要です。

## アンインストール

アンインストーラーでコンピューター上のプリンタードライバーコンポーネントを検出できます。アンインストールウィンドウでそれらのコンポーネントのリストを作成します。ドライバーをアンインストールした場合、そのドライバーを使用しているプリンターもまたコンピューターから削除されます。

### ドライバーコンポーネントをアンインストールする

- 1 Product Library で、【アンインストール】を選択します。
- 2 アンインストールするコンポーネントを選択します。  
 プリンターを選択するか、それぞれのアイテムを展開し、個々のコンポーネントを選択します。【すべて選択】を選択すると、すべてのアイテムの選択または解除ができます。
- 3 【アンインストール】>【完了】を選択します。必要に応じて、コンピューターを再起動します。

## プリンタードライバーの設定について

プリンタードライバーの設定は、アプリケーションの印刷ダイアログボックス、または【スタート】>【コントロールパネル】から行えます。アプリケーションから行った設定は、そのアプリケーションが閉じるまで有効です。コントロールパネルから設定を行うと、デフォルト設定としてすべてのアプリケーションに適用されます。

### デフォルトのドライバー設定を変更する

- 1 コントロールパネルで、【デバイスとプリンター】を選択します。
- 2 お使いのプリンターを右クリックし、【印刷設定】を選択します。
- 3 設定を確認および変更し、【OK】を選択します。



## 3 印刷設定サマリー

印刷設定の下側のペインは、各タブの設定のサマリーを表示します。設定の各グループは展開したり、折りたたんだりできます。以下のオーバービューイメージはいくつかの設定を視覚的にも表示します。

### プリンター

接続しているほとんどの入力デバイスと出力デバイスを表示します。給紙元や排紙先へのすべての変更が緑色で強調表示されます。ジョブ保留オプションを選択した場合、ストレージデバイスアイコンが表示されます。

### ページ

印刷の向き、レイアウト、仕上げなどといったページ設定への変更を反映します。

### カラー

色やグレースケールの設定を表示します。

現在の PDL (ページ記述言語) も表示されます。アプリケーションから印刷する際、PDL を一時的に変更してドライバーのある特定の機能を有効にできます。デバイス設定での PDL の変更はデフォルトのドライバー設定として維持されます。



- お使いのコンピューターの縦方向の画面解像度が 864 ピクセル以下の場合、下側のペインは表示されません。
- お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

## HTML ヘルプ

プリンタードライバーソフトウェアでは、プリンターから印刷する際の各種設定を行います。プリンタードライバーでは、ユーザー操作を支援するためのオンラインヘルプを利用できます。プリンタードライバーのオプションを選択する際の疑問など、問題を解決するにはオンラインヘルプのトピックを参照してください。

印刷設定タブ、デバイス設定タブ、および他のすべてのダイアログボックスでオンラインヘルプを開くには、キーボードの F1 キーを押すか画面右上の疑問符 (?) アイコンをクリックして、再度ダイアログボックスをクリックします。

## PDL (ページ記述言語)

お使いのプリンターによって、ページ記述言語 (PDL) を設定すると、印刷ページのコンテンツおよびレイアウトを指定できます。



- PDL をデバイス設定で選択すると、選択はすべてのアプリケーションに適用されます。

- アプリケーションから、PDL を印刷設定で選択すると、選択はそのアプリケーションのインスタンスのみに適用されます。
  - クライアント - サーバー環境では、制限されたユーザーはこの機能を使用できません。
- 

### PCL XL

これは HP PCL と PCL 6 の最新バージョンで、PCL 5c/5e の機能が含まれています。PCL XL には、PCL の旧バージョンとの下位互換性はありませんが、次の点において、PCL 5c/5e の機能よりも強化されています。

- ファイルサイズの圧縮
- 印刷速度の高速化
- アプリケーションに戻る速度の高速化
- セキュリティー・ウォーターマークに対応
- 細線化に対応

### PCL 5c/5e

- PCL の旧バージョンとの完全な互換性
- 双方向通信のサポート
- Microsoft Windows のアプリケーションで使用できるフォントの種類の大
- ページのはじめまたは終わりは、プロローグ/エピローグで使用可



この PDL を使うと、複雑なグラフィックが正確に印刷しない場合があります。

---

### KPDL

PostScript 2 または 3 がサポートされているアプリケーションから印刷する場合に便利です。

- PostScript 印刷のエミュレーション
- グラフィックの再生機能の強化
- 印刷速度は、PCL 5c/5e よりも遅くなる場合がある
- PCL 5c/5e よりも大きなプリンターメモリ容量が必要
- ネイティブ TrueType フォントのダウンロードが可能
- 多彩なグラフィックス設定をサポート

### PDF

Output to PDF (PDF作成) プラグインでは、さまざまなデータ元から文書を Adobe PDF 形式に印刷または保存できます。PDF 形式は、文書の作成に使われたオペレーティングシステムやアプリケーションに依存しません。

- PDF 文書作成のため、既存の市販アプリケーションの代用として使用可能
  - 元の文書のレイアウトを保持
  - PDF コンテンツを表示できる OS 上で閲覧や印刷が可能
- 



- この PDL では、一部のドライバー機能は使用不可。

- 複数の用紙サイズが混在する文書の場合は、PDF のすべてのページで、最初のページのサイズが使用されます。

選択された PDL によって、一部の追加オプションが使用可能です。

#### 白紙ページをスキップ

印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字だけのページの出力を防ぎます。これにより、用紙の節約と印刷時間の多少の短縮が可能になります。



「レイアウト設定を使用」が選択された場合、製本、両面印刷、またはページ集約設定が有効であれば、すべてのページが印刷されます。

#### スマート両面印刷

片面だけの印刷で終わる場合、このオプションで用紙が両面ユニットを経由しないで印刷を終えるようにします。両面ユニットの消費を低減でき、印刷時間の短縮にもつながります。次の例は両面ユニットを経由しない印刷ジョブです。

- 片面 1 ページだけの文書を印刷する場合
- 複数ページの文書から 1 ページだけを印刷する場合
- 複数ページをページ集約機能で 1 ページに印刷する場合

#### パススルーモード

PostScript 形式のアプリケーションによる複雑なジョブを印刷する際に、エラーを減らすことができます。



選択すると拡張機能タブの「EMF スプールを行う」は使用できません。

#### 印字領域互換

他のプリンターの設定に一致するように、印刷領域を調整することができます。

#### GDI 互換モード

アプリケーションで作成したグラフィックを高品質で出力することができます。ベクトルグラフィックのラスターライズを行い、ビットマップイメージとして印刷します。

PDF では、いずれかのオプションを使用できます。

#### フォントを埋め込む

このオプションを使用すると、次が行われます。

- 文書中のフォントは PDF ファイルで設定されたとおりに画面に表示されません。
- ファイルの見ばえを正確に再現できますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。

#### データを圧縮する

このオプションを使用すると、PDF 文書を圧縮でき、ファイルサイズが非常に削減されます。

#### 印刷と保存オプション

印刷、保存、または両方を選択できます。選択された保存オプションによって、次の設定が使用可能です。

##### カラーとして保存

このオプションでは、PDF ファイルをカラー文書として保存します。

##### 規定のフォルダーに自動保存

特定の場所に PDF ファイルを自動的に保存することができます。

##### 日付と時間

PDF のファイル名には、日付と時間が追加された現在のファイル名が含まれます。



このオプションがクリアされると、同一のファイル名を持つ PDF が置き換えられます。

#### 暗号化

暗号化オプションを指定します。

##### **Arc4 40/128**

両方の暗号化オプションは、PDF 文書に対して低レベルのセキュリティを提供します。いずれかのオプションは、Adobe Acrobat および Adobe Reader 6.0 以前をサポートしています。

##### **AES 128/256**

両方の暗号化オプションは、PDF 文書に対して高レベルのセキュリティを提供します。AES 128 は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 7.0 以降をサポートしています。AES 256 は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 9.0 以降をサポートしています。

選択によって、パスワード保護を追加できます。

##### セキュリティ設定を変更するパスワード

パスワードを指定して、PDF のセキュリティセクションで設定された制限を変更することを許可できます。このオプションが有効な場合、文書の印刷または編集、文書データのコピーができません。

##### 文書を開くパスワード

パスワードを指定して、PDF 文書を開きます。



文書を開くパスワードはセキュリティ設定を変更するパスワードと異なる必要があります。

## ページ記述言語 (PDL) を選択する

- 1 次のいずれかを行います。
  - [デバイス設定] > [PDL] > [言語の選択リスト] で、PDL を選択します。
  - 印刷設定で、任意のタブの一番下から、現在の PDL を選択します。言語の選択リストで、PDL を選択します。
- 2 PDL によって、追加のオプションを設定できます。
- 3 すべてのダイアログボックスで [OK] を選択します。

## 設定リスト

各タブの下のパインにある設定リストには、ドライバーの機能 (一部機能を除く) の現在の設定が表示されます。スクロールダウンすると、すべてのドライバータブの機能を確認できます。各オプションを選択すると、現在選択されているオプションが設定リストに表示されます。マイナス (-) またはプラス (+) アイコンをクリックして詳細の表示/非表示を切り替えられます。

## 印刷プレビュー

各タブの下部に、印刷プレビューチェックボックスが表示されます。ドライバー設定を選択した後、印刷プレビューを選択して印刷ジョブを確認することができます。プレビューには、テキストとイメージのほか、設定によってはウォーターマークまたはセキュリティ・ウォーターマークが表示されます。

## 印刷ジョブをプレビューする

- 1 任意の印刷設定タブで [印刷プレビュー] を選択します。



ジョブをプレビューする前に設定を確認または変更してください。

- 2 [OK] > [印刷] をクリックします。
- 3 印刷プレビューで、次のいずれかを行います。
  - ページへ移動するには、矢印ボタンを選択します。
  - ページを拡大または縮小するには、虫眼鏡ボタンを選択します。



この機能は、文書のサイズおよび画像解像度によって使用できません。

- 印刷前にさらに変更を行うには、[X] ボタンを選択します。
- 印刷するには、印刷ボタンを選択します。

## バージョン情報ダイアログ

ロゴまたはバージョン情報ボタンは、デバイス設定および印刷設定ダイアログボックスの下部に表示されます。ロゴまたはバージョン情報をクリックすると、ドライバーのバージョンとドライバーのプラグインの情報を表示したダイアログボタンが開きます。

### バージョン情報を表示する

- 1 デバイス設定または印刷設定ダイアログボックスで、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックし、続けて【詳細バージョン】をクリックすると、次のドライバー情報が表示されます。
  - File Name
  - 詳細バージョン
  - 説明
  - Date
  - Manufacturer
  - Comments
- 2 著作権情報を表示するには、【使用条件】をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。

### プラグイン情報を表示する

- 1 デバイス設定または印刷設定ダイアログボックスで、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックしてから【プラグイン】をクリックすると、次のプラグイン情報が表示されます。
  - Module
  - 説明
  - 詳細バージョン
- 2 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。

## 4 デバイス設定

デバイス設定では、インストールされているプリンターのオプションを選択し、プリンタードライバーで関連機能を使用できるようにします。ドライバーのメモリー設定とプリンターに装着されているメモリーを一致させることができます。これにより、ドライバーがフォントのダウンロードをより効率的に管理できるようになります。また、管理者、ユーザー、PDL (ページ記述言語)、互換性の各設定が可能です。



お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

### デバイス設定にアクセスする

- 1 コントロールパネルで、**【デバイスとプリンター】**を選択します。
- 2 お使いのプリンターを右クリックし、**【プリンターのプロパティ】**>**【デバイス設定】**を選択します。

### デバイスオプション

この機能を使うと、給紙元やジョブ拡張機能などのプリンター機能を拡張できます。クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

### 使用できるオプションを設定する

- 1 **【デバイス設定】**>**【使用できるオプション】**で、インストールされているすべてのオプションのチェックボックスをオンにします。
- 2 **【OK】**を選択します。

### ユーザーボックスを設定する

ジョブ保存タブのユーザーボックス機能を使用するには、まずデバイス設定タブのハードディスクまたは SSD 設定ダイアログボックスで、ユーザーボックスを作成します。最大 1000 個のユーザーボックスを作成し、印刷ジョブを保存できます。ユーザーボックスは、プリンターの操作パネルからジョブを後で印刷できるユーザーに割り当てることができます。

- 1 **【デバイス設定】**>**【使用できるオプション】**で、ストレージデバイスをダブルクリックします。
- 2 **【追加】**を選択し、次の設定を変更します。
  - **【ボックス番号】**

- [ボックス名称]
- [ユーザー名]
- [共有ボックス]



- 選択されている場合、すべてのネットワークユーザーが、ボックスにジョブを保存できます。
- 選択されていない場合、ボックスの所有者およびネットワーク管理者だけが、ボックスにジョブを保存できます。

- [パスワードの確認]



このオプションは、共有ボックスが選択されている場合だけ使用できます。

ユーザーボックスを追加するには、この手順を繰り返します。

- 編集するには、定義されたユーザーボックスでアイテムを選択し、設定を編集します。
- ユーザーボックスリストをインポートするには、[インポート]を選択し、有効な .csv または .kxu ファイルを参照します。
- 現在のユーザーボックスリストをエクスポートするには、[エクスポート]を選択し、詳細を入力してから [保存] を選択します。保存された .csv または .kxu ファイルは他のプリンタードライバーにインポートすることができます。

- 3 すべてのダイアログボックスで [OK] を選択します。

## 自動設定

この機能を使うと、ネットワークに接続されたプリンターに装着しているオプション等を検出できます。自動設定は、入力デバイス、出力デバイス、ストレージデバイス、メモリー、RAM ディスクの容量を検出します。コンピューターが TCP/IP または WSD ポート経由で直接プリンターに接続されている場合、自動設定ボタンがデバイス設定に表示されます。自動設定は、使用できるオプションのリスト、メモリー、およびオーバービューイメージを更新して、プリンターとドライバーの設定を自動的に一致させます。



この機能は、お使いのコンピューターを USB ケーブルでプリンターに接続している場合は使用できません。

自動設定を使用しても、装着されているすべてのデバイスが検出されるわけではありません。設定内容が正しいことを確認してから、デバイス設定で [OK] をクリックします。

### サイレント自動設定

サイレント自動設定を選択すると、ドライバーは 10 分おきにプリンターをチェックし、追加デバイスやメモリーに変更がないかを確認します。変更を検出すると、ドライバーは自動的に新しい設定に更新されます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

## 自動設定を有効にする

- 1 すべてのオプションデバイスがプリンターに接続されて電源がオンになっている、印刷の準備が整っていることを確認します。
- 2 デバイス設定で、**[自動設定]**を選択し、以下のオプションを選択します。
  - 自動設定の開始  
プリンターの現在の設定を取得します。
  - サイレント自動設定  
ドライバーが定期的にプリンターのオプションデバイスやメモリーの変化をチェックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** を選択します。

## メモリー

メモリーは、プリンターに装着されている標準メモリーとオプションメモリーの合計容量です。プリンターのフォントが最も高速でダウンロードされるようにするには、ドライバーをプリンターメモリーの合計容量と一致するように設定する必要があります。デフォルトでは、メモリーはプリンターの標準メモリーと一致するように設定されます。オプションメモリーを装着した場合は、ドライバーのメモリーが、デバイスのメモリー合計容量と一致するように設定します。

## メモリーを設定する

- 1 プリンターにオプションメモリーを装着します。
- 2 **[デバイス設定]** > **[メモリー]** で、装着した全メモリーの容量を入力または選択します。

プリンターに自動設定機能がある場合には、それを使ってメモリー容量の情報を取得できます。

## RAM ディスク

一部のプリンターでは、RAM ディスクは仮想ストレージデバイスとして機能し、印刷要求をプリンターのメモリーに保存します。RAM ディスクは一時メモリーであるため、すべての保存されたデータは電源を切ると消失します。RAM ディスク容量の設定は、プリントデバイスの操作パネルでの設定と一致する必要があります。RAM ディスクの最大容量は、装着済みのメモリー容量によって異なります。

互換性設定ダイアログボックスで、「ドライバーのソート設定を優先する」機能を選択すると、ドライバーでのソート設定が使用されます。その場合、RAM ディスクは印刷ジョブを1回送信するだけで、ソートで複数の印刷を行う場合に速度を上げることができません。



お使いのプリンターによっては、デバイス設定でハードディスクまたは、SSDを選択すると、RAM ディスク機能が無効になります。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

## RAM ディスクを設定する

- 1 **【デバイス設定】 > 【使用できるオプション】** で、**【RAM ディスク】** を選択し、サイズを設定します。
- 2 プリンターの操作パネルで、RAM ディスクをオンにし、容量を設定します。



操作パネルとデバイス設定のRAMディスク容量は一致する必要があります。

## 管理者設定

この機能を使うと、管理者は、ユーザーや部門の管理、ドライバーの表示タブの設定、管理者設定へのアクセスを制御するためのパスワード設定などのオプションを設定できます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントは、この機能を使用できません。

### 一般

一般タブでは、管理者は簡単設定タブの表示を制御できます。SNMP 設定の一部、ジョブのメール通知、およびその他設定も選択できます。

## 簡単設定タブを表示する

この機能を使うと、管理者は印刷設定の簡単設定タブの表示を制御できます。よく使う印刷時の設定をあらかじめ定義しておくことで、使いやすさを向上できます。

この機能を有効にするには **【デバイス設定】 > 【管理者設定】 > 【一般】** で、**【簡単設定タブを表示する】** をクリックします。有効にすると、次のオプションにアクセスできます。

簡単設定タブ以外を隠す

ユーザーには簡単設定タブだけが表示されるようになります。

初期画面を簡単設定タブにする

印刷設定画面にアクセスすると、簡単設定タブが開くようにします。

編集/追加ボタンを隠す

ユーザーは簡単設定タブをカスタマイズできなくなります。

## カウント情報を送信する

この機能を使うと、管理者は、印刷ジョブにカウント情報を埋め込むことができます。印刷ジョブは、部門管理機能に対応したアプリケーションで使用できます。カウ

ント情報には、印刷ページ数、両面印刷、ページ集約、および用紙サイズが含まれます。

この機能を有効にするには、[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般] で、[カウント情報を送信] をクリックします。

## アプリケーション名を発行する

この機能を使うと、管理者は、異なる印刷プロセスを各アプリケーションで使用できるように、印刷ジョブにアプリケーション名を付加して送信できます。

この機能は、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

この機能を有効にするには、[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般] で、[アプリケーション名を発行] をクリックします。

## アプリケーション別の印刷設定を有効にする

この機能を使うと、管理者は、プロファイルをアプリケーションと関連付け、そのアプリケーションからのすべての印刷に同一のプロファイル設定を適用できます。この機能を使用する前に、次の手順を行います。

- 任意の印刷設定タブからアクセスする「プロファイル」ダイアログボックスで、プロファイルを作成する必要があります。
- 「プロファイル」ダイアログボックスから「アプリケーション別の印刷設定」ダイアログボックスにアクセスし、プロファイルとアプリケーションを関連付ける必要があります。

デフォルトでは、この機能は有効です。この機能を無効にするには [デバイス設定] > [管理者] > [一般] で、[アプリケーション別の印刷設定を有効にする] のチェックボックスをオフにします。

## パスワードで管理者設定を保護する

この機能を使うと、管理者は、管理者設定ダイアログボックスで「設定を保護する」をオンにすることで、このダイアログボックスに対して不正に変更されるのを防ぐことができます。この設定をオンにすると、パスワードの入力とパスワードの確認を求めるプロンプトが表示されます。このパスワード保護は、すべての管理者設定オプションへのアクセスをブロックします。

### 管理者パスワードを設定する

- 1 [デバイス設定] > [管理者設定] > [一般] で、[設定を保護する] を選択します。
- 2 パスワードを指定し、確認してから、[OK] を選択します。

### 管理者パスワードをクリアする

- 1 デバイス設定で、[管理者設定] をクリックします。

- 2 パスワード設定ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。
- 3 管理者設定ダイアログボックスで、**[設定を保護する]** チェックボックスをオフにし、**[OK]** をクリックします。

## 初期設定プロファイルを隠す

この機能を使うと、管理者は、簡単設定タブとプロファイルダイアログボックスにある初期設定プロファイルを表示または非表示にできます。

- チェックボックスをオンにすると、初期設定プロファイルはリストに表示されません。
- チェックボックスをオフにすると、初期設定プロファイルはリストに表示されます。

## 下のペインを隠す

この機能を使うと、管理者は、下のペインを隠して印刷設定ダイアログボックスのサイズを小さくすることができます。オーバービューイメージと設定リストは、ビューから削除されます。PDL 選択、プロファイルボタン、および印刷プレビューチェックボックスはそのまま使用できます。

一部の画面表示や画面解像度の設定では、「下のペインを隠す」チェックボックスが自動的に選択されます。

## SNMP 設定

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御する、アプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリンターなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して保存します。SNMP のセキュリティーレベルは、SNMP 設定ダイアログボックスの設定により指定されます。SNMPv3 では、暗号化と認証がサポートされます。SNMP 設定は、プリンタードライバーおよびプリンターのホームページで設定する必要があります。

使用可能な SNMP オプションは、次のとおりです。

### SNMPv1/v2c

リードコミュニティ名とライトコミュニティ名を使用して管理対象デバイスと通信します。

### SNMPv3

認証と暗号化のセキュリティー拡張機能には、ユーザー名とパスワードが必要です。設定をクリックすると、認証オプションやプライバシーオプションが使用できるようになります。

設定を他の機種に反映

このオプションを使用すると、設置したプリンターのリストが表示され、選択した SNMP 設定を適用できます。

## SNMPv3 のオプション

**[SNMPv3]** オプションを選択すると、プリンターとの通信の安全性を高めることができます。

### 認証

転送されたファイルが完全な状態で到達し、受信されたかどうかを確認するアルゴリズムを実行します。MD5 (Message Digest 5) および SHA1 (Secure Hash Algorithm 1) は、パケットデータの認証に用いられるアルゴリズムです。

#### MD5

このオプションは、128 ビットのハッシュ値を生成する暗号化用ハッシュ関数を実行します。

#### SHA1

160 ビット長のメッセージダイジェストを生成します。SHA1 は、MD5 の後継アルゴリズムです。

### 暗号通信

通信の信頼性を高めるために暗号化が使用されます。このオプションは、**[認証]** オプションを選択すると選択できるようになります。次の **[暗号通信]** オプションから 1 つ選択します。

#### DES

暗号化技術として DES (Data Encryption Standard) が使用されます。DES は、暗号化アルゴリズムを使用して平文を暗号文に変換します。暗号化と復号化には、8 バイト長のブロックと 56 ビット長のキーが使用されます。

#### AES

暗号化技術として AES (Advanced Encryption Standard) が使用されます。AES は、対称的に構成されたブロックによる暗号文で、128、192、256 ビット長の暗号鍵を使用して 128 ビットのデータブロックを処理することができます。この方法は、DES よりも安全性が高くなります。

## SNMP 設定を選択する

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で、**[SNMP 設定]** を選択します。
- 2 **[SNMPv1/v2c]** または **[SNMPv3]** を選択します。
  - SNMPv1/v2c を使用するには、**[リードコミュニティ名]** と **[ライトコミュニティ名]** を指定します。
  - SNMPv3 を使用するには、ログイン情報を指定します。
- 3 SNMPv3 に認証とプライバシーオプションを設定するには、**[設定]** をクリックします。
- 4 SNMPv3 設定で、使用可能なオプションを選択し、**[OK]** をクリックします。
- 5 設定を他の機種に反映では、設定を適用できるプリンターから選択します。SNMP の設定が、選択したすべてのプリンターに適用されます。

## 6 [OK] を選択します。

### ジョブのメール通知

ジョブが完了すると、プリンターが指定したアドレスにメールで通知を送信します。複数のジョブが印刷キューにあり、ユーザーがジョブの完了を待つ必要がある場合に便利です。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、デバイス設定の管理者設定ボタンが、認証設定ボタンになります。メール通知のデータは、認証設定ダイアログボックスで入力できます。

### メール通知オプションを選択する

- 1 [デバイス設定] > [管理者設定] > [一般] で、[印刷完了通知] を選択します。
- 2 メールアドレスのオプションを選択します。
  - [特定の E メールアドレスを使用] を選択し、有効なメールアドレスを入力します。クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーによるアドレス変更が可能です。
  - [印刷時に E メールアドレスを入力] を選択し、[OK] をクリックします。印刷の際に、印刷ダイアログボックスで [OK] をクリックし、印刷オプションまたは認証設定ダイアログボックスで有効なメールアドレスを入力し、[OK] をクリックします。
- 3 一部のプリンターでは、印刷中に発生した問題について通知を受け取る場合は、[印刷中断時に通知] を選択します。
- 4 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

### ロック設定

この機能を使うと、管理者はドライバーの各タブの設定や機能レベルを指定し、それらをロックすることができます。ロックされた設定は、すべての印刷ジョブに適用され、変更が制限されます。ロック設定は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]で行います。たとえば、文書を両面印刷するようにドライバーを設定しておくことができます。用紙が節約されるため、経費の削減および環境保護につながります。

設定をロックすると、ほかのタブで表示される同じ機能もロックされます。たとえば、[両面印刷] を選択すると、簡単設定および基本設定タブでもその機能がロックされます。

また管理者は、一時的に機能のロックを解除するためのパスワードを設定することもできます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

## ロック設定のオプション

ロック設定タブには、管理者がロックできるドライバー設定が表示されます。ロックすると、ユーザーの変更は制限され、設定はすべての印刷ジョブに適用されます。設定が有効になると、「パスワードの設定」オプションにアクセスできます。これにより、管理者は用紙やトナー量の使用を管理できます。

### エコプリント

簡単設定、基本設定、または印刷品質タブで選択されているエコプリント設定をロックします。

### 両面印刷

簡単設定または基本設定タブで選択されている両面印刷設定をロックします。

### ページ集約

簡単設定タブの現在のページ集約設定、およびレイアウトタブのページ集約設定をロックします。レイアウトタブでは、「1 シートのページ数」オプションはロックされません。

### アプリケーション別の印刷設定

アプリケーションごとに定義したドライバー設定のプロファイルをロックします。

### ジョブ保存タブ

ジョブ保存タブで選択された設定をロックします。

### セキュリティー・ウォーターマーク

拡張機能タブで選択したセキュリティー・ウォーターマーク設定をロックします。セキュリティー・ウォーターマークは、オプションのプラグインです。

### ウォーターマーク

拡張機能タブで選択したウォーターマーク設定をロックします。

### パスワードの設定

管理者が設定したパスワードを使用して、選択したドライバー機能をロックできます。管理者がパスワードを設定している場合、ドライバーのタブ、または「アプリケーション別の印刷設定」ダイアログボックスに、ロック解除アイコンが表示されます。ロックを解除するには、ロック解除をクリックし、パスワードを入力します。

## ドライバー設定をロックする

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** で **[ロック設定]** をクリックします。
- 2 ロックする各ドライバー機能のチェックボックスを選択します。
- 3 一時的に設定を解除するためにパスワードを設定する場合は、**[パスワードの設定]** のチェックボックスをオンにします。

パスワードの設定ダイアログボックスで、4～16文字のパスワードを入力します。新しいパスワードの確認にもう一度パスワードを入力し、**[OK]**をクリックします。

パスワードを削除するには、**[パスワードの設定]** チェックボックスのチェックをオフにします。パスワードの解除ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。

**4** ロック設定の内容を保存するには、**[OK]** をクリックします。

パスワードが設定されている場合は、ロックされている機能が表示されているドライバータブに、ロック解除アイコンが表示されます。機能のロックを解除し一時的に設定を変更するには、**[ロック解除]** をクリックし、パスワードを入力します。

## ユーザー管理

一部のプリンターで使用でき、この機能を使用すると、管理者はユーザーごとにジョブ制限を提供できます。部署や部門ごとに権限を割り当てる部門管理とは異なりますのでご注意ください。

ドライバーで最大 100 件のログインユーザー名とパスワードを作成して保存することができます。プリンターによっては、最大 1000 件保存できます。

ユーザーはユーザー名とパスワードによって認識されます。ユーザー名は、UPN 形式 (username@domain.com) での入力も可能です。この機能により、指定されたユーザーのみに印刷の権限が制限されるため、機密性の高い印刷と課金が行えます。それぞれのユーザーが印刷したページ数は、プリンターによって管理されます。

また、プリンタードライバーに追加されたユーザーは、プリンターの操作パネルから手動で登録する必要があります。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは一部のオプションを使用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、デバイス設定の管理者設定ボタンが、認証設定ボタンになります。ユーザーログインのデータは、認証設定ダイアログボックスで入力できます。

## ユーザー管理のオプション

プリンタードライバーで選択したユーザー管理の設定は、コンピューターから送信されたすべての印刷ジョブに適用されます。

特定のログインユーザー名を使用

このオプションは、特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユーザー管理が使用できます。このオプションが選択されていると、ユーザーは印刷ジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

クライアント/サーバー環境のクライアントコンピューターには、管理者によって設定されたデフォルトのユーザー名とパスワードを使用するか、別の名前とパスワードを入力することができます。**[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

### 印刷時にログインユーザー名を入力

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。リストにはないユーザー名を使用し、リストにユーザー名を追加しないでもできます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたらユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。

### 登録ログインユーザーリスト

クリックして、ログインユーザー名とパスワードを追加、削除、編集、インポート、またはエクスポートすることができます。登録ログインユーザーリストを作成すると、テキストファイル (.csv、.kxc、.txt) 形式で保存することにより、まとめてエクスポートできます。登録ログインユーザーリストをインポートするには、既存のリストを参照し、それをプリンタードライバに保存します。

### 印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。印刷するジョブに関して、入力するユーザー名とパスワードは登録ログインユーザーリストにある必要があります。ドライバのログインユーザー名リストに入力されているログインユーザー名を使用できます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたらユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。このオプションは、選択されたユーザー名がドライバに保存されていることが確認された場合だけ、ジョブを印刷します。

### ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認

このオプションは、Windows ユーザー名をドライバの登録ログインユーザーリストで検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。Windows ユーザー名が登録ログインユーザーリストに存在する場合、そのリスト内の関連付けられたドライバのログインユーザー名とパスワードを使用してジョブを印刷できます。登録ログインユーザーリストが Windows ユーザー名と関連付けられていない場合、ユーザー名と関連付ける登録ログインユーザーリストとパスワードの入力が求められます。

一致するユーザー名が見つからない場合、ドライバは管理者権限またはユーザー権限を確認します。ユーザー権限だけを持つユーザーには、印刷ジョブがキャンセルされ、管理者に問い合わせして印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバにより、ログインユーザー名とパスワードの入力を求められます。Windows ユーザー名とともに、これらをリストに追加しておくと、印刷ジョブを続行するためにユーザーがログインユーザー名とパスワードを再入力する必要がなくなります。

## ユーザー管理を使用して印刷する

プリンターで、ログインユーザー名が割り当てられ、プリンターのユーザーログインモードがオンに設定された後、**[ユーザー管理]** を選択して、ユーザーログインモードで印刷を実行できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントには自動的にサーバーで設定したユーザー管理の設定が適用されます。

- 1 デバイス設定で、次の順に進みます。

**[管理者設定] > [ユーザー管理] > [ユーザー管理]**

- 2 ユーザー管理オプションを選択します。
  - 特定のログインユーザー名を使用
  - 印刷時にログインユーザー名を入力
  - 印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)
  - ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認



ログインユーザー名リストからユーザー名を追加または選択する場合は、最後の 2 つのオプションのみを選択できます。リストを表示および管理するには、ボタンをクリックします。

- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 4 アプリケーションから文書を印刷します。
- 5 必要に応じて名前とパスワードを入力または選択し、**[OK]** をクリックします。

## 部門管理

部門管理を使用すると、ユーザーまたは部署に部門コード (識別番号) を割り当てることができます。特定の部門コードを割り当て、印刷時に入力を求めるよう設定できます。プリンターの操作パネルで部門コードを作成すると、特定の部門コードの印刷枚数を確認または制限できます。部門コードは、最大 8 桁指定可能です。

プリンターで部門管理を有効にする必要があります。プリンターで最大 100 件の部門コードを割り当て、ドライバーに保存することができます。プリンターによっては、最大 1000 件保存できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、デバイス設定の管理者設定ボタンが、認証設定ボタンになります。部門管理のデータは、認証設定ダイアログボックスで入力できます。



この機能は、一部のプリンターのみで使用できます。

## 部門管理オプション

部門管理では、次のオプションをサポートします。

### 特定のコードを使用

このオプションでは、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブごとに部門コードが送信されます。

印刷時、ユーザーはジョブ保存タブで、異なる部門コードを選択することができます。**[管理者設定] > [部門管理]** で設定したデフォルトの部門コードは変更されません。

クライアントコンピューターはクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルトの部門コードを使用するか、他の部門コードを入力す

ることができます。**[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

#### 印刷時にコードを入力

このオプションでは、部門コードを入力するよう求めるだけでなく、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブが送信されるとき、ユーザーは部門コード ID を入力するよう求められます。

#### 部門コード

リストの部門コードを追加、編集、または削除できます。最大 100 件の部門コードをプリンタードライバーに保存できます。プリンターによっては、最大 1000 件保存できます。プリンターが TCP/IP ポートや WSD ポートに接続されている場合、プリンターに保存されている部門コードリストを取得することができます。部門コードリストを作成すると、このリストをテキストファイル (.csv、.kxc、.txt) 形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。部門コードリストをインポートするには、既存のリストを参照して開きます。

#### 印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)

このオプションでは、ドライバーに保存された部門コードを指定するよう求められます。印刷ジョブを送信する際、部門コードの入力を促すメッセージが表示されたら、コードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。部門コードは、部門コードリストと照合されます。入力を間違えた場合は、もう一度部門コードを入力するよう求められます。

#### 印刷時にコードリストから選択

このオプションでは、印刷時に部門コードリストを表示します。ユーザーまたはグループに印刷ジョブを割り当てることができます。部門コードはドライバーに保存され、リストを表示するには 1 件以上の部門コードを作成しておく必要があります。

#### ユーザー (ホスト) ごとに部門コードを確認

このオプションは、Windows ユーザー名をドライバーの部門コードで検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。Windows ユーザー名が部門コードリストに存在する場合は、そのリスト内の関連付けられたドライバーの部門コードを使用してジョブを印刷できます。部門コードが、Windows ユーザー名と関連付けられていない場合、ユーザー名と関連付けたい部門コードの入力が求められます。

一致する部門コードが見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限を確認します。ユーザー権限のみ持つユーザーには、印刷ジョブがキャンセルされ、管理者に問い合わせるよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバーにより、部門コードの入力を求められます。Windows ユーザー名とともに、これをリストに追加しておくことで、印刷ジョブを続行するためにユーザーが部門コードを再入力する必要がなくなります。

## 部門コードリストを取得する

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[部門管理]** で、**[部門管理]** を選択して **[取得]** をクリックします。

- 2 「部門管理リストを取得」ダイアログボックスで、ユーザー名とパスワードを入力し、認証モードを選択します。
- 3 **[OK]** をクリックします。

既存のリストは、新しく取得された部門コードリストに置き換えられます。

## 部門コードを追加または編集する

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[部門管理]** で、**[部門管理]** を選択します。
  - コードを作成するには、**[追加]** をクリックします。
  - 既存の部門コードを編集するには、リストから部門コードを選択し **[編集]** をクリックします。
- 2 コードで、最大 8 桁の数字を入力します。
- 3 説明で、ユーザーやグループなどの部門コードの説明を入力します。
- 4 ユーザー名で、Windows ユーザー名を、最大 20 文字で入力します。ユーザー名は大文字と小文字の区別がありません。
- 5 **[追加]** をクリックしてユーザー名 (ホスト) リストに名前を追加します。
- 6 部門コードをリストから削除するには、削除する部門コードを選択し **[削除]** をクリックします。
- 7 **[OK]** をクリックします。

## 部門管理を使用して印刷する

- 1 デバイス設定で、次の順に進みます。  
**[管理者設定]** > **[部門管理]** > **[部門管理]**
- 2 次のいずれかを選択します。
  - 特定のコードを使用
  - 印刷時にコードを入力
  - 印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)
  - 印刷時にコードリストから選択
  - ユーザー (ホスト) ごとに部門コードを確認



コードリストからコードを追加または選択する場合は、最後の 3 つのオプションのみを選択できます。リストを表示および管理するには、ボタンをクリックします。

- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 4 アプリケーションから文書を印刷します。
- 5 必要に応じてコードを入力または選択し、**[OK]** をクリックします。

## ユーザー設定

この機能を使うと、ユーザー名と部署・部門名を指定し、デフォルトの単位を選択することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントは部署・部門名と単位は使用できません。ユーザー名は変更できます。

## ユーザー登録

この機能を使うと、最大 31 文字のユーザー名と部署・部門名を使用して、印刷ジョブを識別できます。2 バイト文字もサポートしています。ユーザー名は、ストレージデバイスに保存されている印刷ジョブの識別に使用できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーはユーザー名を変更することができます。これにより、サーバーのデフォルトユーザー名は変更されません。

## ユーザー登録情報を設定する

- 1 **[デバイス設定] > [ユーザー設定]** で、ユーザー名テキストボックスにユーザー名を入力します。
- 2 部署・部門名テキストボックスに、部署・部門名またはグループ名を入力します。  
ユーザー名 および 部署・部門名 テキストボックスには、最大 31 文字を入力できます。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 単位

この機能を使うと、単位に、**[インチ]** または **[ミリ]** のどちらかを設定できます。単位は、次の設定に使用されます。

- 基本設定タブの原稿サイズ設定
- 拡張機能タブのウォーターマークの追加およびウォーターマークの編集ダイアログボックスにある間隔の設定
- レイアウトタブのポスター設定
- レイアウトタブまたは仕上げタブのとじしろ設定

## 単位を選択する

- 1 **[デバイス設定] > [ユーザー設定]** で、**[インチ]** または **[ミリ]** のどちらかを選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## PDL (ページ記述言語)

お使いのプリンターによって、PDL (ページ記述言語) を設定すると、印刷ページのコンテンツおよびレイアウトを指定できます。



- PDL をデバイス設定で選択すると、選択はすべてのアプリケーションに適用されます。
- アプリケーションから、PDL を印刷設定で選択すると、選択はそのアプリケーションのインスタンスのみに適用されます。
- クライアント-サーバー環境では、制限されたユーザーはこの機能を使用できません。

### ページ記述言語 (PDL) を選択する

- 1 次のいずれかを行います。
  - [デバイス設定] > [PDL] > [言語の選択リスト] で、PDL を選択します。
  - 印刷設定で、任意のタブの一番下から、現在の PDL を選択します。言語の選択リストで、PDL を選択します。
- 2 PDL によって、追加のオプションを設定できます。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** を選択します。

## 互換性設定

この機能を使うと、給紙元の値の設定、ソート設定のプリンタードライバー優先、および基本設定タブの給紙元と用紙種類 (メディアタイプ) リストの統合などの操作を行います。

一部のプリンターでは、混在する用紙サイズの印刷の向きを揃えたり、フェイスアップ出力時の逆順印刷を無効にしたりすることもできます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

互換性設定ダイアログボックスのすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[標準に戻す]** をクリックします。

## 給紙方法の設定

給紙方法の設定は、カセットやフィーダー用の値など、プリンタードライバーに固有の給紙値との互換性をサポートします。新しくプリンタードライバーをインストールした場合でも、ドライバーの製造元には関係なく、交換したドライバーと同じ給紙サポートが保持されます。古いドライバーに給紙のマクロが残っていても、給紙値の調整が維持されるため、マクロを変更する必要はありません。

プリンタードライバー間で指定された給紙元が異なる場合、設定値を割り当て直してドライバー間で一致するようにできます。

## 給紙を設定する

- 1 **[デバイス設定]** > **[互換性]** で、給紙方法の設定リストから給紙方法を選択します。現在の値は、設定値ボックスに表示されています。
- 2 **[設定値]** に値を入力して、**[適用]** をクリックします。別のドライバーと設定を合わせるには、この値を他のドライバーの値と合わせる必要があります。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 「フェイスアップ出力時の逆順出力しない」を設定する

一部のプリンターでは、「フェイスアップ出力時に逆順出力しない」機能を使用すると、フェイスアップ出力時に 1 ページ目が一番上に、最終ページが一番下に出力できます。

- 1 In **[Device Settings]** > **[Compatibility]**, select **[Disable face-up reverse page order]**.
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## ドライバーのソート設定を優先する

この機能を使うと、アプリケーションのソート設定を無視し、プリンタードライバーの設定を優先させます。

- チェックボックスをオンにすると、プリンタードライバーのソートの設定が使用されます。
- チェックボックスをオフにすると、アプリケーションのソートの設定が使用されます。

## プリンタードライバーのソート設定を優先選択する

- 1 **[デバイス設定]** > **[互換性]** で、**[ドライバーのソート設定を優先する]** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 給紙元リストにメディアタイプも表示する

この機能を使うと、ドライバーの基本設定タブを変更して、「用紙種類」と「給紙元」を「給紙元」という名前の 1 つのリストに統合できます。統合されたリストでは、最初に用紙種類が表示され、次にカセットと手差しトレイが表示されます。

## 統合された給紙元リストを作成する

- 1 **[デバイス設定]** > **[互換性]** で、**[給紙元リストにメディアタイプも表示する]** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 混在する用紙サイズを回転する

一部のプリンターで使用可能で、混在する 2 種類の原稿サイズを正確に揃えることができます。原稿サイズの組み合わせによっては、異なる原稿サイズの文書データが逆方向に印刷される場合があります。これは、より大きな用紙サイズが横向きの場合に起こる可能性があります。しかしこの機能を選択すると、大きい方の原稿サイズデータを回転させ、両方の原稿サイズの印刷方向を揃えます。

## 混在する用紙サイズの向きを揃える

- 1 **[デバイス設定]** > **[互換性]** で、**[混在する用紙サイズを回転]** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## プラグインを削除する

ドライバーに設定されているプラグインを削除できます。削除すると、ドライバーのインターフェイスにプラグインの機能が表示されなくなります。



**Output to PDF (PDF 作成) モジュールを削除する場合は、PDF が PDL として選択されていないことを確認してください。**

- 1 デバイス設定で、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックしてから、**[プラグイン]** をクリックします。
- 2 リストからプラグインモジュールを選択して、**[削除]** をクリックし、次に **[はい]** をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 5 簡単設定

簡単設定タブでは、印刷ジョブに基本的な印刷設定を適用できます。簡単なユーザーインターフェイスですばやくオプションを選択できます。

簡単設定の設定はプロファイルと呼ばれるグループとして保存し、すべての印刷ジョブに適用できます。プロファイルでは一般的な印刷タスクがサポートされています。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

簡単設定タブを表示するかどうかは、インストール中、または【デバイス設定】>【管理者設定】で管理者が設定できます。



お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

### 簡単設定オプション

簡単設定タブでは、最大 5 つの印刷オプションを設定できます。編集/追加機能を使用すると、印刷オプションの表示をカスタマイズできます。よく使う印刷ジョブを、あらかじめ定義した設定と登録されたプロファイルを選択することで印刷することもできます。

## 印刷の向き

この機能を使うと、印刷ジョブの用紙の向きを指定できます。【印刷の向き】アイコンを繰り返しクリックすると、印刷方向を「たて」、「よこ」、「たて(180°回転)」、「よこ(180°回転)」に変更できます。回転オプションは、印刷の向きを180度回転させます。



回転オプションは、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

「印刷の向き」は、基本設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

## ソート

この機能を使うと、複数部数の印刷で、印刷の順番を指定できます。

【ソート】アイコンをクリックし、オン、オフ、オン(逆順印刷)、オフ(逆順印刷)を切り替えます。逆順印刷は、一部のプリンターでのみ使用できます。

オンを選択すると、印刷ジョブがプリンターに送信された後、データはページイメージとしてプリンターのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回コンピューターからプリンターに送信することなく、複数部数が印刷できます。

オンを選択すると、ドライバーは1冊分を部数分だけ印刷します(123, 123)。オフを選択すると、ドライバーはページごとに部数分だけ印刷します(111, 222)。たとえば、オンを選択し、5ページの原稿を3部出力する場合、1ページから5ページまで連続して、3回印刷します。

アプリケーションのソート設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションのソート設定を使用するには、デバイス設定の互換性設定ダイアログボックスで、「ドライバーのソート設定を優先する」のチェックボックスをオフにします。

一部のプリンターでは、オン(逆順印刷)またはオフ(逆順印刷)を選択すると、逆のページ順で印刷されます。基本設定タブの排紙先で、プリンターの設定が選択されていない場合に設定できます。フェイスアップ出力を行う一部のプリンターでは、オフ(逆順印刷)は【デバイス設定】>【互換性】から無効にすることができます。

ソートは、基本設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

## 両面印刷

この機能を使うと、ページの両面に印刷できます。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。【両面印刷】アイコンをクリックして、次のオプションを切り替えます。

オフ

両面印刷を無効にします。

### 長辺とじ

長辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

### 短辺とじ

短辺を軸にして開くように見る場合に選択します。



インストール中に「両面印刷を有効にする」をデフォルトとして選択した場合、長辺とじが自動的に選択されます。

文書が白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)]** > **[白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

ロック設定を行う前に、両面印刷をオンにしておく必要があります。両面印刷がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーは両面印刷が使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** で、**[両面印刷]** を選択することで、すべてのジョブを両面に印刷できます。

「両面印刷」は基本設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

## ページ集約

この機能を使うと、文書のレビューや用紙節約などの目的で1枚の用紙に複数のページを印刷できます。1枚の用紙に印刷するページが増えるため、ページサイズが小さくなり読みやすさは低下します。**[ページ集約]** アイコンを繰り返しクリックし、1枚の用紙に印刷するページ数を2ページ、4ページ、またはオフに変更します。

この機能は、レイアウトタブで、ページ集約としても表示されます。1シートあたりのページ数を追加したり、ページの並べ方を設定したり、または各ページの境界線を印刷したりできます。

1シートのページ数が選択されている場合、レイアウトタブで「縮小/拡大」と「ポスター」は使用できません。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)]** > **[白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

ロック設定を行う前に、ページ集約をオンにしておく必要があります。ページ集約がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはページ集約が使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** の順に進み、**[ページ集約]** を選択することで、すべてのジョブをページ集約で印刷できます。

## エコプリント

イメージ、テキスト、およびグラフィックを薄い濃度で印刷して、トナーを節約することができます。この機能は、印刷速度に影響しません。

簡単設定、基本設定、または印刷品質で、エコプリントを有効にすることができます。



- 1つのタブのエコプリント設定は、この機能を使用できる他のタブにも適用されます。
- 印刷品質では、一部のプリンターではトナーの節約量を選択できません。
- 管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】で、エコプリントを選択すると、すべてのジョブがエコプリントモードで印刷されるようにすることができます。ロック設定を使用する前に、簡単設定、基本設定、または印刷品質で、エコプリントを有効にする必要があります。

## 簡単設定オプションの編集/追加

簡単設定タブ上部のアイコンをカスタマイズして、最も頻繁に使用する機能をまとめておくことができます。アイコンは0～5個表示できます。簡単設定タブでプリンタープロファイルのオプションだけを使用する場合、すべてのアイコンをビューから削除できます。



管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】で【編集/追加ボタンを隠す】を選択することにより、編集/追加ボタンを非表示にすることができます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからドライバーにアクセスした場合は、編集/追加ボタンは表示されません。

## 簡単設定オプションを選択する

- 1 コントロールパネルで、【デバイスとプリンター】を選択します。
- 2 お使いのプリンターを右クリックし、【印刷設定】を選択します。
- 3 【簡単設定】タブを選択し、【編集/追加】をクリックします。
- 4 簡単設定オプションの編集/追加で、次のいずれかを行います。
  - 追加するには、「利用可能な機能」から機能を選択し、「選択した機能」に移動します。「選択した機能」には最大5つの機能が表示されます。
  - 削除するには、「選択した機能」で機能を選択し、「利用可能な機能」に移動します。簡単設定タブでプリンタープロファイルのみを使用するには、すべての機能を「利用可能な機能」に移動します。
  - 「選択した機能」で各機能の位置を変更できます。一番上の機能は簡単設定タブでは左側に表示されます。
  - リストを初期設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。
- 5 【OK】をクリックします。

## プロファイル

この機能を使うと、プリンタードライバーの設定をプロファイルとして保存できます。簡単設定タブと印刷設定の各タブで各種設定を行い、それらをプロファイルに保存して、印刷を行う際に一括で適用することができます。プロファイルを使用する

と、印刷ジョブごとに各種の印刷設定を繰り返す必要がなく、同一の印刷設定を使う印刷ジョブの実行が簡単になります。印刷設定では名前を付けて保存とプロファイルボタンが各タブの下部に表示されます。

**【デバイス設定】** > **【管理者設定】** で、初期設定プロファイルを表示または隠すよう選択できます。デバイス設定で行った設定は、プロファイルには保存できません。プリンタードライバをデフォルト設定にリセットするには、「初期設定」プロファイルを選択し、**【適用】** をクリックします。



初期設定のプロファイルだけは編集できます。他のプロファイルは編集できませんが、削除、インポート、およびエクスポートできます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは、クライアントプロファイルとサーバープロファイルのどちらかを選択できます。クライアントは、サーバーで作成されたデフォルトのプロファイルに自動的に設定されます。拡張機能タブで、**【クライアント・プロファイルを有効にする】** チェックボックスをオンまたはオフにします。

## プロファイルを選択する

- 1 次のいずれかを行います。
  - 簡単設定タブで、プロファイルを選択します。
  - 印刷設定のいずれかのタブで、**【プロファイル】** をクリックし、続けてプロファイルを選択します。選択されたプロファイルの設定内容が下の設定リストに表示されます。
- 2 **【適用】** をクリックし、続けて **【OK】** をクリックします。

## プロファイルを保存する

- 1 印刷設定を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。
- 2 任意のタブで、次のいずれかを実行します。
  - **【名前を付けて保存】** をクリックします。
  - **【プロファイル】** をクリックし、続けて **【追加】** をクリックします。
- 3 プロファイルを識別するため、名称を入力し、アイコンを選択して、コメントを入力します。
- 4 **【OK】** をクリックします。

プロファイルダイアログボックスと簡単設定タブに、新しく追加したプロファイルが表示されます。

## 初期設定プロファイルを編集する

- 1 任意のタブで **【プロファイル】** をクリックします。

- 2 「プロファイルの選択」セクションで、初期設定プロファイルを選択し、**[編集]** をクリックします。
- 3 **[名称]**、**[アイコン]**、および **[コメント]** のオプションを編集できます。
- 4 **[OK]** をクリックして変更を保存します。  
プロファイルダイアログボックスと簡単設定タブに、編集されたプロファイルが表示されます。
- 5 **[適用]** をクリックして選択した初期設定プロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

## プロファイルを削除する

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 プロファイルの選択で、削除するプロファイルを選択し、**[削除]** をクリックします。
- 3 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **[はい]** をクリックします。
- 4 **[閉じる]** をクリックしてプロファイルダイアログボックスを閉じます。

## プロファイルをインポートする

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックして、次に **[インポート]** をクリックします。
- 2 既存のプロファイル (.kxp) を参照し、選択して、**[開く]** をクリックします。  
インポートされたファイルの中に、既存のドライバーでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合は、メッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには **[はい]** を、インポートをキャンセルするには **[いいえ]** をクリックします。  
「はい」を選択すると、プロファイルダイアログボックスに新しくインポートしたプロファイルが表示されます。
- 3 **[適用]** をクリックして、選択したプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。  
新しく追加したプロファイルが、簡単設定タブに表示されます。

## プロファイルをエクスポートする

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 プロファイルの選択で、エクスポートするプロファイルを選択し、**[エクスポート]** をクリックします。
- 3 「プロファイルのエクスポート」ダイアログボックスで、プロファイルに名前を付けて保存します。

4 **[OK]** をクリックして「プロファイル」ダイアログボックスを閉じます。

## アプリケーション別の印刷設定

この機能を使うと、管理者は、プロファイルをアプリケーションと関連付け、そのアプリケーションからのすべての印刷に同一のプロファイル設定を適用できます。これによりプロファイルが一層使いやすくなり、アプリケーションからの印刷の一貫性が保証されます。たとえば、用紙を節約するために両面印刷プロファイルをすべてのスプレッドシートに適用することや、Microsoft Word によるレポート印刷に対して、同一のステープルや一貫した印刷品質を設定できます。

アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックス (プロファイルダイアログボックスからアクセスできます) で、いつでもプロファイルとアプリケーションを関連付けることができます。最大 25 のアプリケーション別の印刷設定を作成できます。アプリケーションを使用して印刷するには、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般]** で **[アプリケーション別の印刷設定を有効にする]** をクリックします。

クライアント/サーバー環境で、クライアントコンピューターのユーザーは、サーバー上のアプリケーション印刷設定の詳細を確認できますが、設定の変更や別のプロファイルの選択はできません。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** で、**[アプリケーション別の印刷設定]** を選択することで、アプリケーションからのすべてのジョブに関連付けられたプロファイル設定を適用できます。

## アプリケーション印刷設定を追加する

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 プロファイルダイアログボックスで、**[アプリケーション]** をクリックします。
- 3 アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックスで **[追加]** をクリックします。
- 4 アプリケーション印刷設定の追加ダイアログボックスに、アプリケーション印刷設定の名前を入力します。
- 5 「アプリケーションを選択してください」で、次のいずれかの方法に従ってアプリケーションを選択します。
  - **[アプリケーション名]** を選択し、リストに登録されているアプリケーションを選択します。
  - **[ファイル名 (\*.exe)]** を選択し、印刷可能なアプリケーションの実行ファイル名 (.exe) を入力するか、**[参照]** をクリックしてコンピューター上にあるファイルを検索します。
- 6 「プロファイルを選択してください」で、リストからプロファイルを選択します。
- 7 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## アプリケーション印刷設定を削除する

- 1 任意のタブで **【プロファイル】** をクリックします。
- 2 プロファイルダイアログボックスで、**【アプリケーション】** をクリックします。
- 3 アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックスで、削除するアプリケーション印刷設定を選択し、**【削除】** をクリックします。
- 4 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **【OK】** をクリックします。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

## アプリケーション印刷設定を編集する

- 1 任意のタブで **【プロファイル】** をクリックします。
- 2 プロファイルダイアログボックスで、**【アプリケーション】** をクリックします。
- 3 アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックスで、編集するアプリケーション印刷設定を選択し、**【編集】** をクリックします。
- 4 アプリケーション印刷設定の編集ダイアログボックスで、「設定名称」、「アプリケーションを選択してください」、または「プロファイルを選択してください」で設定を変更します。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

## 6 基本設定

基本設定タブでは、最もよく使うプリンタードライバーの設定を指定できます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

### 出力用紙サイズ

この機能を使うと、文書を出力する用紙のサイズを選択できます。この設定を使用する際は、原稿サイズの設定がアプリケーションで設定されている原稿サイズと一致していることを確認します。出力用紙サイズがアプリケーションの原稿サイズと異なると、各ページは出力用紙サイズと一致させるために拡大または縮小されます。

カッコ内の数値 (%) は、原稿用紙サイズに対する出力用紙サイズの比率です。

出力用紙サイズで封筒サイズまたははがきサイズが選択されている場合、メッセージが表示され、用紙種類は自動的に調整されます。

## 原稿サイズ

この機能を使うと、アプリケーション内の原稿サイズを選択できます。選択すると、出力用紙サイズリストは、原稿サイズに対する出力用紙サイズの比率を示します。



一部のプリンターでは、大きな原稿サイズ (A0、A1、A2、B1、B2、B3) を選択した場合、縮小・拡大率は 20% 未満となる場合があります。印刷結果は保証されないことを示すメッセージが表示されます。レイアウトタブのポスター機能は、大きな原稿サイズでは使用できません。

標準サイズ以外の不定形サイズの用紙に印刷することもできます。カスタムサイズとして、原稿サイズおよび出力用紙サイズリストに保存しておく、後でそのサイズを選択できます。



カスタムサイズは、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは、クライアントのカスタム原稿サイズとサーバーのカスタム原稿サイズのどちらかを選択できます。拡張機能タブで、【クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする】チェックボックスをオンまたはオフにします。

原稿サイズダイアログボックスには、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、【デバイス設定】>【ユーザー】のユーザー設定ダイアログボックスで変更できます。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターで単位の設定は使用できません。

## カスタム原稿サイズを作成する

- 1 基本設定タブで、【原稿サイズ】をクリックします。
- 2 原稿サイズダイアログボックスで、【新規】をクリックします。
- 3 名称ボックスに、デフォルトのカスタムサイズ名が表示されます。カスタム原稿サイズ名を入力します。
- 4 短辺および長辺の値を入力または選択します。入力した値が制限値を超えた場合、値が自動的に制限値に調整されます。
- 5 完了したら、【追加】をクリックします。
- 6 【OK】をクリックして原稿サイズダイアログボックスを閉じます。

出力用紙サイズのリストにカスタム原稿サイズが表示され、これは出力サイズを拡大または縮小するために使用されます。

## カスタム原稿サイズを削除する

- 1 基本設定タブで、【原稿サイズ】をクリックします。
- 2 原稿サイズダイアログボックスで、削除するカスタムサイズを選択します。

- 3 **[削除]** をクリックします。
- 4 **[OK]** をクリックして原稿サイズダイアログボックスを閉じます。

## カスタムサイズの内紙を使用して印刷する

- 1 カスタムサイズの内紙を手差しトレイに入れます。
- 2 基本設定タブで、出力用紙サイズリストのカスタム原稿サイズ名を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 使用状況でリスト

頻繁に使用する出力用紙サイズと原稿サイズのリストを表示できます。印刷に頻繁に使用するサイズはリストの上部に表示されます。優先される出力用紙サイズと原稿サイズはプリンタードライバーによって決定されます。用紙が混在する文書の場合、ドライバーは文書の最初のページだけを判断に使用します。出力用紙サイズと原稿サイズリストをデフォルトの並び順にリセットするには、**[使用状況でリスト]** のチェックボックスをオフにします。クライアント/サーバー環境では、サーバーで「使用状況でリスト」を選択すると、クライアント設定に影響を与えません。



カスタム用紙サイズは、出力用紙サイズと原稿サイズのソートには含まれません。

## 給紙元

この機能を使うと、印刷ジョブに給紙するトレイまたはカセットを指定できます。デフォルト設定は自動選択で、プリンターはアプリケーションまたはプリンタードライバーから要求された用紙を検索します。印刷中に選択したトレイまたはカセットが用紙切れになった場合、プリンターは他の給紙元を選択し、印刷を続行します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、手差しトレイから給紙する必要があります。プリンターの『使用説明書』の指示に従って、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。



ダイアログボックスでは、給紙元と用紙種類は個別の項目ですが、**[デバイス設定]** > **[互換性]** の「給紙元リストに用紙種類も表示する」を使用すると、1項目として設定できます。この場合、基本設定タブの用紙種類は使用できず、給紙元リストから用紙種類を選択します。

## 用紙種類

この機能を使うと、用紙種類を選択できます。選択した用紙が印刷ジョブに使用されます。選択可能な用紙の種類は給紙元を選択によって異なります。デフォルト設定は指定なしに設定されており、給紙元が用紙切れとなっても他の給紙元に切り替わりません。**[自動選択]** を選択した場合、プリンターは指定と同一の種類とサイズの用紙が給紙されているカセットまたはトレイを選択します。

出力用紙サイズで封筒サイズまたははがきサイズが選択されている場合、メッセージが表示され、用紙種類は自動的に調整されます。

プリンターからカスタム用紙種類名を表示できます。プリンターで名前が変更された場合は、新しい名前がデフォルト名に替わり表示されます。プリンター名を表示するには、デバイス設定の自動設定を使用します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、手差しトレイから給紙する必要があります。プリンターの『使用説明書』の指示に従って、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

この機能を使うと、用紙種類リストから【封筒】を選択して、封筒に印刷できます。一部のプリンターでは、ジョブがプリンターに送られると、メッセージが表示されません。封筒への印刷については、プリンターの『使用説明書』のプリンター特定の指示に従ってください。印刷終了後は、スイッチを元の位置に戻します。



ダイアログボックスでは、給紙元と用紙種類は個別の項目ですが、【デバイス設定】>【互換性】の「給紙元リストに用紙種類も表示する」を使用すると、1項目として設定できます。この場合、基本設定タブの用紙種類は使用できず、給紙元リストから用紙種類を選択します。

## 排紙先



この機能は、PDF が PDL として選択されている場合に使用できます。

この機能を使うと、印刷ジョブの出力先の排紙トレイを指定できます。

## 部数

この機能を使うと、印刷する部数を指定できます。最大 999 部印刷できます。プリンターによっては、最大 9999 部印刷できます。

## カーボンコピー

この機能を使うと、別のトレイやカセットから給紙した用紙を使用して、追加の印刷を行えます。この機能は、請求書のような文書を、異なるカラー用紙または用紙の種類で印刷する場合に便利です。カーボンコピーは、最大枚数まで設定して印刷できません。

拡張機能タブのプロローグ/エピローグ機能を使用して、それぞれのカーボンコピーにロゴや見出しを追加することもできます。

カーボンコピーが選択されている場合、一括コピー、レイアウトタブのブックレット、および表紙/合紙タブにあるすべての機能が使用できません。

## カーボンコピーを印刷する

- 1 基本設定タブで、給紙元と原稿の印刷部数を選択します。
- 2 カーボンコピーを行うために、各給紙元にカラー用紙など任意の種類の用紙をセットします。

- 3 **[カーボンコピー]** チェックボックスをオンにします。
- 4 **[設定]** をクリックします。
- 5 カーボンコピー設定ダイアログボックスで、各給紙元の印刷部数を選択します。  
すべての給紙元からの合計印刷部数が、合計に表示されます。
- 6 各カーボンコピーの **[給紙元]**、**[用紙種類]**、あるいは両方を選択します。
- 7 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 一括コピー

この機能を使うと、印刷ジョブをバッチに分けて印刷できます。バッチごとに部数を選択できます。バッチごとに印刷ジョブに名前を付け、その設定を保存して後で使用できます。これは、一括コピー設定をエクスポートまたはインポートする際に便利です。

それぞれのバッチに表紙を追加したり、必要に応じてジョブ名とタイトルを追加して印刷したりすることもできます。表紙には、本文ページとは違う用紙サイズ、用紙種類、印刷の向きを選択することもできます。用紙サイズ、用紙種類、および給紙元の設定は、基本設定タブの設定と異なってもかまいません。**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** で、ユーザー管理または部門管理が選択されている場合は、表紙を追加することはできません。

この機能を使用すると、簡単設定および基本設定タブのソート機能が自動的にオンに設定されます。クイックコピーを使用する場合は、ストレージデバイスに保存されるバッチは1つだけで、バッチの表紙は保存も印刷もされません。



この機能を使用するには、ストレージデバイスが装着され、PCL XL または PCL 5c/5e が PDL として選択されている必要があります。

この機能は、部数およびカーボンコピーとは併用できません。

## 一括コピーで印刷する

- 1 基本設定タブで、**[一括コピー]** を選択します。
- 2 **[設定]** をクリックします。
- 3 一括コピー設定ダイアログボックスで、**[新規]** をクリックして、バッチをリストに追加します。
- 4 部数には、選択されたバッチのコピー枚数を入力します。
- 5 すべてのバッチに表紙を追加するには、**[一括コピーの表紙を印刷]** を選択して、表紙のオプションを選択します。

- すべてのバッチの表紙にジョブ名を印刷する場合は、【一括コピーのジョブ名】に任意の文字を入力します。
- それぞれのバッチのタイトルを印刷する場合は、【一括コピーの表紙タイトル】に任意の文字を入力します。
- 出力用紙サイズ、給紙元、用紙種類、および印刷の向きのオプションを選択します。設定内容を変更すると、変更による互換性を保つため、他の選択も調整されることに注意してください。

**6** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

リストからバッチを選択し、**[削除]** をクリックするとバッチを削除できます。

**[インポート]** をクリックすると、コンピューターまたはネットワークから有効なバッチファイル (.bci) を検索してインポートできます。

**[エクスポート]** をクリックすると、コンピューターまたはネットワークの任意の場所に、設定したリスト (.bci) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタードライバーにインポートできます。

## ソート

この機能を使うと、複数部数の印刷で印刷の順番を指定できます。

**[ソート]** アイコンをクリックし、オン、オフ、オン (逆順印刷)、オフ (逆順印刷) を切り替えます。逆順印刷は、一部のプリンターでのみ使用できます。

オンを選択すると、印刷ジョブがプリンターに送信された後、データはページイメージとしてプリンターのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回コンピューターからプリンターに送信することなく、複数部数が印刷できます。

オンを選択すると、ドライバーは 1 冊分を部数分だけ印刷します (123、123)。オフを選択すると、ドライバーはページごとに部数分だけ印刷します (111、222)。たとえば、オンを選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

アプリケーションのソート設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションのソート設定を使用するには、デバイス設定の互換性設定ダイアログボックスで、「ドライバーのソート設定を優先する」のチェックボックスをオフにします。

一部のプリンターでは、オン (逆順印刷) またはオフ (逆順印刷) を選択すると、逆のページ順で印刷されます。基本設定タブの排紙先で、プリンターの設定が選択されていない場合に設定できます。フェイスアップ出力を行う一部のプリンターでは、オフ (逆順印刷) は **[デバイス設定]** > **[互換性]** から無効にすることができます。

ソートは簡単設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

## 文書をソートする

**1** 基本設定タブで、**[ソート]** をオンにします。

- 2 部数ボックスで、印刷ジョブの部数を入力するか、または選択します。
- 3 [OK] をクリックします。

## 印刷の向き

この機能を使うと、印刷ジョブの用紙の向きを指定できます。【たて】、【よこ】、【たて (180° 回転)】、【よこ (180° 回転)】のいずれかのアイコンをクリックします。回転オプションを選択すると、印刷ジョブの向きが 180 度回転します。



回転オプションは、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

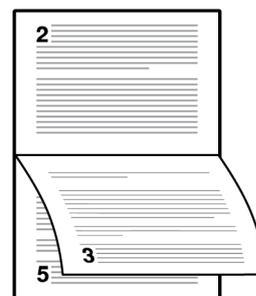
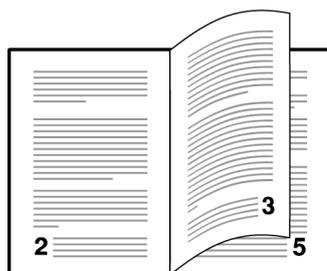
「印刷の向き」は簡単設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのいずれかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

## 両面印刷

この機能を使うと、ページの両面に印刷できます。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。両面印刷を有効にするには、次のいずれかを選択します。

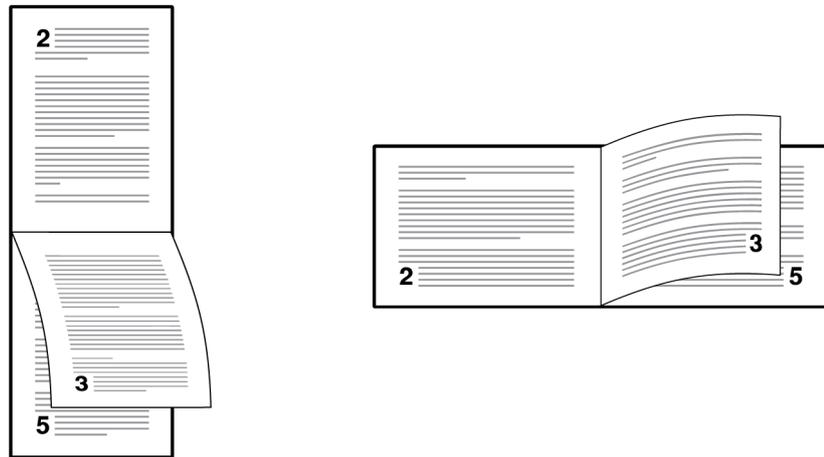
### 長辺とじ

長辺を軸にして開くように見る場合を選択します。



### 短辺とじ

短辺を軸にして開くように見る場合を選択します。



インストール中に「両面印刷を有効にする」をデフォルトとして選択した場合、長辺とじが自動的に選択されます。

文書が白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

「両面印刷」は簡単設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

ロック設定を行う前に、両面印刷をオンにしておく必要があります。両面印刷がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーは両面印刷が使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** で、**[両面印刷]** を選択することで、すべてのジョブを両面に印刷できます。

## 両面印刷モードで印刷する

- 1 基本設定タブで、**[長辺とじ]** または **[短辺とじ]** のいずれかのアイコンをクリックします。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## エコプリント

イメージ、テキスト、およびグラフィックを薄い濃度で印刷して、トナーを節約することができます。この機能は、印刷速度に影響しません。

簡単設定、基本設定、または印刷品質で、エコプリントを有効にすることができます。



- 1つのタブのエコプリント設定は、この機能を使用できる他のタブにも適用されます。

- 印刷品質では、一部のプリンターではトナーの節約量を選択できません。
  - 管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** で、エコプリントを選択すると、すべてのジョブがエコプリントモードで印刷されるようにすることができます。ロック設定を使用する前に、簡単設定、基本設定、または印刷品質で、エコプリントを有効にする必要があります。
-



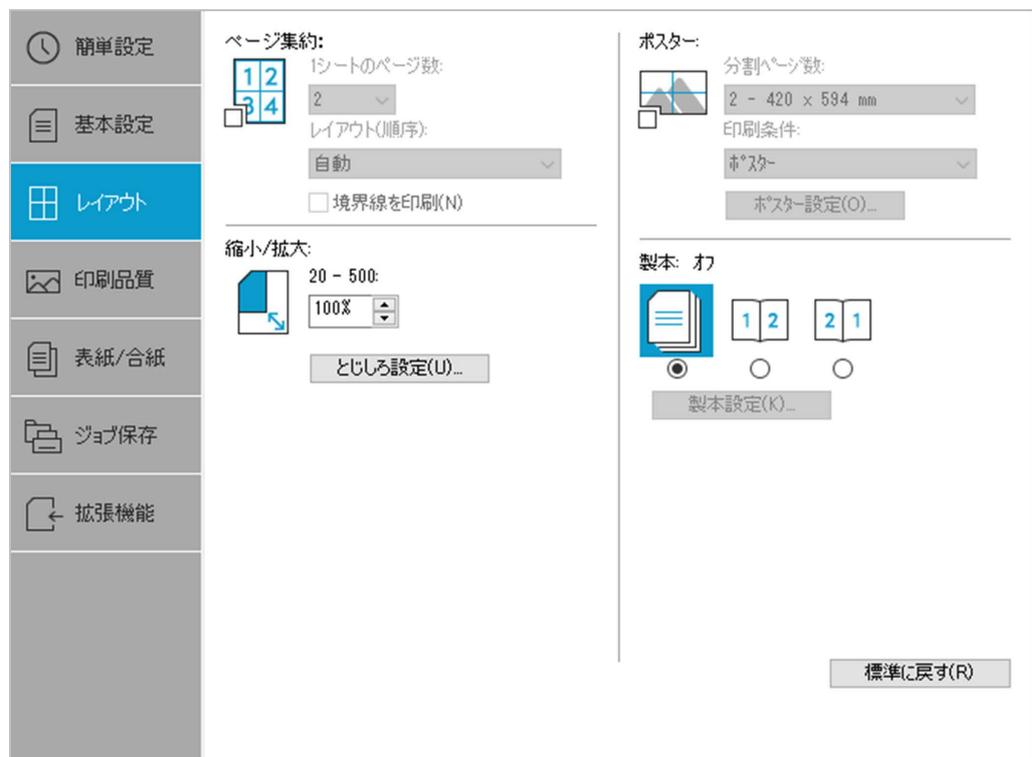
## 7 レイアウト

レイアウトタブでは、元の文書のレイアウトを変更することなく、さまざまなレイアウトで印刷できます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。



### ページ集約

この機能を使うと、文書のレビューや用紙節約などの目的で1枚の用紙に複数のページを印刷できます。1枚の用紙に印刷するページが増えるため、ページサイズが小さくなり読みやすさは低下します。レイアウトタブで、各ページの境界線の印刷と、ページの並べ方を設定できます。

この機能は、簡単設定タブのページ集約にも表示され、2ページシート、4ページシート、またはオフを選択できます。

ページ集約が選択された場合、「縮小/拡大」と「ポスター」は使用できません。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

ロック設定を行う前に、ページ集約をオンにしておく必要があります。ページ集約がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはページ集約が使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** の順に進み、**[ページ集約]** を選択することで、すべてのジョブをページ集約で印刷するようにできます。

## ページ集約印刷する

- 1 レイアウトタブで、**[ページ集約]** アイコンをクリックします。
- 2 1 シートのページ数リストで、1 枚の用紙に印刷するページ数を指定します。
- 3 レイアウト (順序) リストから、ページを並べる方向を選択します。
- 4 各ページの境界線を印刷するには **[境界線を印刷]** をオンにします。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 縮小/拡大

この機能を使うと、テキストやグラフィックを含むページを拡大または縮小して印刷します。

また、とじしろ設定を選択すると、ステープルや穴あけを行うために、とじしろを広げることができます。

レイアウトタブの他のオプションが選択されている場合、縮小/拡大は使用できません。

## ページ内での縮小/拡大を設定する

- 1 レイアウトタブで、**20~500%** の範囲で比率を入力または選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## とじしろ設定

この機能を使うと、用紙左側および上側のマージン (余白) が拡大されます。とじしろ設定は、印刷文書をステープルでとじたり、穴あけを行ったりする際に、読みやすくするためによく使用されます。印刷領域を右または下にずらし、余白を広くとることができます (最大 **25.4mm**)。

とじしろの幅には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、**[デバイス設定] > [ユーザー]** のユーザー設定ダイアログボックスで変更できま

す。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターで単位の設定は使用できません。



PDLとしてPDFが選択された場合、レイアウトタブで「とじしろ設定」が使用できます。

## とじしろを作成する

- 1 レイアウトタブで、【とじしろ設定】をクリックします。
- 2 とじしろの幅で、5.0 から 25.4 mm (0.20 から 1.00 インチ) の範囲で値を入力するか選択します。

### 短辺とじ (上)

選択すると、ページ上部の外側のマージンを変更できます。

### 長辺とじ (左)

選択すると、ページ左側の外側のマージンを変更できます。



とじしろ設定が使用できるかどうかは、基本設定タブの「印刷の向き」と「両面印刷」設定によって異なります。

- 3 印刷内容が用紙の端に寄りすぎる場合は、【ページに合わせて縮小する】を選択します。印刷内容は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。  
とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は【ページに合わせて縮小する】をオフにします。
- 4 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。

## ポスター

この機能を使うと、プリンターで印刷可能な用紙サイズよりも大きな文書を作成できます。元の文書より最大 25 倍大きく印刷できます。ポスター文書を分割して複数枚の用紙に印刷し、ポスター設定の機能を使ってこれらの用紙を再びつなぎ合わせることで、簡単にポスターを作成できます。

ポスターを選択した場合、レイアウトタブの他のオプションは選択できません。

### 分割ページ数

元の文書サイズに対応するポスターのサイズを選択します。各オプションには印刷されるページ数と最大ポスターサイズが表示されます。

分割ページ数には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、【デバイス設定】>【ユーザー】のユーザー設定ダイアログボックスで変更できます。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターで単位の設定は使用できません。

## 印刷条件

印刷されたポスター用紙をどのようにつなぎ合わせるかを見るために、テスト印刷ができます。

### ポスター

指定した枚数に実際に分割して印刷します。

### テスト印刷

すべてのポスターページを 1 枚の用紙に印刷して、どのように仕上がるかを表示します。

### ポスター + テスト印刷

すべてのポスター用紙の印刷 (ポスター) と 1 枚のテスト印刷の両方を実行します。

## ポスター設定

ポスターの作成に最も便利なように、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションは、ポスター印刷された用紙に、ページの裁ち落としやつなぎ合わせに便利なガイドラインを印刷します。

### のりしろ幅

隣り合う用紙の端をオーバーラップさせて印刷する機能です。このように端をオーバーラップさせて印刷すると、ポスターの見栄えがよくなります。チェックボックスをオンにして、のりしろ幅を 0.0 から 30.4 mm (0.00 から 1.20 インチ) の範囲で入力または選択します。この機能を使用すると、最終的なポスターのサイズが若干小さくなりますのでご注意ください。

### 枠線を印刷

ポスター用紙の端を示す枠線を印刷します。用紙をつなぎ合わせる前に、枠線から外側を切り落しできます。これによって、隣り合う用紙どうしの印刷内容が正確につながります。

### つなぎ目の番号を印刷

各用紙の端に番号を印刷し、隣り合う用紙と用紙を番号で合わせます。同じ番号の用紙の端を重ね合わせて完成させます。



PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスで GDI 互換モードが選択されている場合は、「つなぎ目の番号を印刷」は使用できません。

## ポスターを印刷する

- 1 レイアウトタブで、[ポスター] アイコンをクリックします。
- 2 「分割ページ数」で、ポスターのサイズを選択します。各オプションには、仕上がりを 1 枚の用紙に収めるために分割が必要な枚数が表示されます。
- 3 印刷条件で、仕上がり印刷条件のオプションを 1 つ選択します。

- 4 **[ポスター設定]** をクリックし、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションを使用すると、ポスターを作成するためのより詳細な設定が行えます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 製本



この機能は、PDF が PDL として選択されている場合に使用できます。

この機能を使うと、1 枚の用紙に 2 ページのレイアウトで両面印刷できます。一部のプリンターでは、ブックレットを用紙の中央で 2 つに折りたたみ、とじることができます。折りたたんだブックレットは、選択した用紙の半分のサイズになります。

製本設定ダイアログボックスでは、製本印刷のその他のオプションを使用できます。

### レイアウト

次の製本レイアウト設定から選択できます。

#### ドライバー側で作成

ページの順序や 1 枚あたりのページ数設定を、ドライバー設定を使って行います。このオプションは、製本のレイアウトがアプリケーションで作成されていない場合に選択します。

#### アプリケーション側で作成

ページの順序や 1 枚あたりのページ数の設定を、アプリケーション設定を使って行います。このオプションは、製本のレイアウトがアプリケーションで作成されている場合に選択します。

### 中とじ・折り設定

一部のプリンターでは、中折りユニットの装着時には、次の設定から選択できます。それ以外の場合、自動的に「なし」が選択されます。

#### なし

ステープルと中折りなしでブックレットを印刷します。

#### 中とじ

ブックレットを印刷し、ステープルと中折りをします。

#### 折りのみ

ブックレットを印刷し、ステープルなしで中折りします。

ステープルまたは中折りオプションを選択した場合には、ブックレットの折りの枚数を選択します。

#### 自動

中とじ・折り設定の選択に応じて、文書ページを均等に分けて 1 冊以上のブックレットに印刷します。中折りユニットをサポートしていないプリンターでは、文書の全ページを 1 冊のブックレットに印刷できます。

#### 選択した枚数

各ブックレットの選択された「折りの枚数」まで、文書ページを分けてブックレットに印刷します。印刷する枚数が折りの枚数の倍数でない場合、最後に印刷されるブックレットの枚数が選択した枚数よりも少なくなる場合があります。

製本を選択した場合、レイアウトタブの他のオプションは選択できません。

ブックレットの表紙には別の給紙元を選択できます。ブックレットに表紙を含めるには、**【表紙/合紙】** タブで、**【表紙付け】** を選択します。

文書が白紙を含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**【PDL (ページ記述言語)】 > 【白紙ページをスキップ】** を選択し、**【オン】** または **【レイアウト設定を使用】** を選択します。

## 製本を印刷する

- 1 レイアウトタブで、次の 2 つのと同じオプションのいずれかのアイコンをクリックします。  
  
左と同じ  
左から右に読む文書を印刷する場合に選択します。  
  
右と同じ  
右から左に読む文書を印刷する場合に選択します。
- 2 追加オプションを選択するには、**【製本設定】** をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

## 8 印刷品質

印刷品質タブでは、印刷の品質およびグレースケール設定を管理できます。

既定の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。



### 印刷品質とカスタム品質



この機能は、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

印刷ジョブの解像度を設定します。解像度とは、印刷されるテキストや画像の画質や鮮明度を、1 インチあたりのドット数 (dpi) で表したものです。カスタム品質の設定では、より精度の高い解像度を印刷ジョブに設定できます。

## 印刷品質の選択

印刷品質タブで、リストから品質設定を選択します。



お使いのプリンターによっては、一部のオプションを使用できない場合があります。

### 高品質、標準、エコプリント

印刷の解像度を、高と低のどちらで印刷するかを選択します。「標準」は、PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスで PCL 5c/5e が選択されている場合は使用できません。

### ユーザー定義

「ユーザー定義」をクリックすると、カスタム品質の設定ダイアログボックスが開きます。プリンターによっては、解像度を Fine 1200、Fast 1200、600 dpi、または 300 dpi に設定できます。KIR は、テキストとベクトルグラフィックの輪郭を滑らかにする機能で、オンまたはオフに設定できます。

## フォント詳細設定

フォントは、書体デザインの同じ文字や記号などを一そろい含むデータファイルです。フォントの一般的な用語は次のとおりです。

### アウトラインフォント

ビットマップフォントとは対照的に、アウトラインフォントは、数学的な線および曲線として定義されます。アウトラインフォントは、(ポイントサイズにかかわらず、ゆがみなく表示および印刷が可能のため) ビットマップフォントと異なり任意に拡大縮小が可能です。

### ビットマップフォント

ビットマップフォントは、各文字をピクセル (画像を構成する最小単位のドット) の組み合わせで表現するフォントです。ビットマップフォントは、拡大または縮小を行うと、ゆがみが発生します。

### ネイティブフォント

ネイティブフォントは、コンピューターのオペレーティングシステムにインストールされている、基本的なフォントです。TrueType フォントは、Microsoft Windows で使用されるネイティブフォントです。

### TrueType フォント

TrueType フォントは、拡大縮小可能なアウトラインフォントの 1 つです。TrueType は、Microsoft Windows で最も多用されている汎用的なフォント形式です。

### システムフォント

システムフォントは、オペレーティングシステムで使用される基本のフォントです。システムフォントは通常、アプリケーションインターフェイス、または一般的なフォントダイアログボックスを介して使用されます。

## プリンターフォント

プリンターフォントは、プリンターメモリーに恒久的または一時的に保存されています。

## フォント詳細設定オプション



このオプションは、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

フォント詳細設定ダイアログボックスでは、TrueType フォントのプリンターへの送信方法を選択します。選択した方法は、印刷ジョブの速度と品質に影響を与えます。

### TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロード

この方法は、複数の異なるフォントやフォントサイズを使用する大きな文書や印刷ジョブに最適です。この設定の最適化機能により印刷の速度も速くなります。同じフォントデータをプリンターに繰り返し送信する回数が減ることによって印刷速度が速くなります。日本語、中国語、韓国語などのアジア言語は、これらの特定のフォントに対して大量の情報が使用されているため、印刷速度は速くなりません。

### Type42 フォント送信モード

この方法は、TrueType フォントを Adobe Type 42 フォント形式に変換することによって、テキストの印刷品質を改良し、印刷速度を上げます。この機能は、KPD L が PDL として選択されている場合に使用できます。

### TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロード

ビットマップとしてフォントをダウンロードすると、より詳細になりますが、ファイルのサイズは非常に大きくなります。これは、ユーザー定義フォント、非常に小さいフォント (ポイントサイズ 1-4)、またはアジアンフォントなどを使用している印刷ジョブに最適です。

### プリンターフォントに代替える

フォントの代替えは、プリンターで目的のフォントが使用できない場合に、代替りのフォントを使用する機能です。フォントの代替えは、フォントを多数内蔵していないプリンターに文書を送信する場合に重要な機能です。代替えには標準 PostScript フォントを使用できます。



GDI 互換性モードは、この方法をサポートしていません。

### プリンターフォントを使用しない

TrueType フォントを、アウトラインフォントまたはビットマップフォントとして送信しても、プリンターのフォントと置き換えられることがあります。TrueType フォントを、プリンターフォントと代替えしないようにするには、「プリンターフォントを使用しない」を選択します。

このオプションによって印刷可能データの可搬性も向上します。このオプションをオフにすると、異なるプリンターに送信した場合、プリンターフォントは一致しません。

一部の Adobe アプリケーションでは、プリンターフォントの使用に制限がある場合があります。これらの制限を回避するには、【プリンターフォントを使用しない】を選択します。プリンターフォントは、コンピューター側に同等の TrueType フォント (TrueType アイコンで表示) が存在しない場合、アプリケーション内のフォント一覧などではフォント名の横にプリンターアイコンが表示されて区別されます。

## フォント詳細設定を選択する

- 1 【印刷品質】 > 【フォント詳細設定】 で、いずれかの TrueType フォントの送信方法を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで 【OK】 をクリックします。

## フォント代替えを設定する

「フォントの代替え」を設定するには、印刷ジョブを作成しているアプリケーションではなく、次の手順で印刷設定を開く必要があります。

- 1 コントロールパネルで、【デバイスとプリンター】を選択します。
- 2 お使いのプリンターを右クリックし、【印刷設定】を選択します。
- 3 印刷品質タブで、次の順に進みます。  
【フォント詳細設定】 > 【プリンターフォントに代替えする】 > 【フォントの代替え】
- 4 システムフォントを選択し、それに代替えするプリンターフォントを選択します。
- 5 【標準に戻す】をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 6 【OK】をクリックします。

システムフォントと類似するフォントがプリンターフォントに存在しない場合、文書内の文字間隔などが正しく表示されない場合があります。

## プリンターフォントを無効にする

- 1 【印刷品質】 > 【フォント詳細設定】 で、【プリンターフォントを使用しない】チェックボックスをオンにします。
- 2 【OK】をクリックして、設定内容を保存します。

## グラフィック詳細設定



この機能は、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

グラフィックは、情報を画像で表したものです。グラフィックを使ってチャートやダイアグラムなどの機能的な情報を表示したり、描画や写真などのアートを表示したりできます。グラフィック詳細設定では、選択した PDL (ページ記述言語) で設定可能なオプションを使って、印刷したグラフィックの視覚的な結果を調整できます。

### パターンスケーリング

この機能を使うと、モニター表示と印刷出力間の見た目を極力一致させることができます。図形やパスなどのグラフィックのオブジェクトには、ドットで構成されるパターンや塗りつぶし (フィル) オブジェクトが含まれます。

- パターンとは、規則的または不規則的に反復された色や図形、線、値、背景から構成され、視覚的な配列を作り出します。
- フィルとは、色または階調によってオブジェクトを塗りつぶすものです。

印刷されたパターンやフィルが画面の表示と一致しない場合、【パターンスケーリング】を使用して、他のドット密度を使用してみてください。【印刷品質】>【グラフィック詳細設定】で、パターンスケーリング設定を選択します。

#### 自動

この設定は、画面の表示に最も近いパターンおよびフィルで印刷します。

#### 粗い

この設定は、パターンやフィルを最も少ない数の線、パターン、またはドットで印刷します。粗いは、PCL XL または PCL 5c/5e が PDL として選択されている場合は、自動と同じです。

#### 中間

この設定は、線数、パターン、またはドットを、粗い場合より上げて、パターンおよびフィルを印刷します。中間は、PDL として KPD L が選択されている場合、自動と同じです。

#### 精細

この設定は、最大の線数、パターン、またはドット数で印刷します。印刷結果は画面表示より濃くなる場合があります。

### 細線化

この機能を使うと、バーコードや線を描画する際のペン幅を縮小できます。アプリケーションで設定された線の太さは変更できません。



細線化機能は、PDL として PCL XL を選択した場合のみに使用できません。PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスで、GDI 互換モードが選択されている場合、細線化機能は使用できません。

【印刷品質】>【グラフィック詳細設定】で、細線化設定を選択します。

オフ

細線化は適用されません。

バーコード

この設定は、縦線と横線のペン幅を縮小します。バーコードの読み取りやすさが向上します。

細線のみ

この設定は、縦線、横線、斜線のペン幅を縮小します。

すべての線

この設定は、バーコードや描画に使用する縦線、横線、斜線のペン幅を1ドット縮小します。

一部のプリンターでは、【デバイス側で細線を補正する】を選択してバーコード印刷の品質を向上することができます。この機能は、ドライバーではなくプリンター側でのペン幅補正を有効にします。

## 反転のオプション



これは PDL が KPD L に設定されている場合のみ使用可能です。

このオプションでは、画像や印刷内容の順序、配置、または位置が逆になるように印刷します。

【印刷品質】>【グラフィック詳細設定】で、反転のオプションを選択します。

ネガティブイメージ印刷

この設定は、画像を写真のネガのように、画像の白と黒の領域を反転して印刷します。

ミラーイメージ印刷

この設定は、画像が鏡に映ったように、ページを左右反転して印刷します。

## イメージデータ方式



これは PDL が KPD L に設定されている場合のみ使用可能です。

イメージデータ方式は、プリンターの機能あるいは効率を向上するための処理または方法です。

【印刷品質】>【グラフィック詳細設定】で、イメージデータ方式のオプションを選択します。

### バイナリー

この設定は、印刷速度を上げ、スプールデータ量を削減します。イメージをバイナリー形式で送信します。これはほとんどすべての印刷ニーズに対して使用できます。

### ASCII

この設定は、ASCII テキストエンコードで PostScript ファイルを作成します。バイナリーで作成したバイナリー形式とは異なり、この選択を使用して作成した ASCII テキストは編集可能です。

## CIE オプション



これは PDL が KPD L に設定されている場合のみ使用可能です。

この機能を使うと、Adobe Acrobat や Photoshop などのアプリケーションで使用される、CIE カラー空間による各処理で実行される通常の処理をバイパスします。CIE データの最適化によって、これらのアプリケーションから印刷する文書の印刷速度が速くなります。CIE データを使用していない印刷ジョブに対しては効果はありません。CIE 最適化は、精度よりも印刷速度を重視する場合に選択されるため、実際に印刷される出力と画面上の表示が異なる場合があります。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定] で、[CIE 最適化] チェックボックスをオンにします。

## 半速モード

この機能を使うと、印刷速度を定格速度の半分に下げることができます。選択すると、小さなサイズや厚手の用紙、表面の平滑性が低い用紙に印刷する場合に、トナーの定着性が向上します。このモードでは印刷中の音を低減できることがあります。

この機能を有効にするには、印刷品質タブで [半速モード] チェックボックスをオンにします。



半速モードは、OHP フィルムと薄紙を除くすべての用紙種類に設定できます。

## エコプリント

イメージ、テキスト、およびグラフィックを薄い濃度で印刷して、トナーを節約することができます。この機能は、印刷速度に影響しません。

簡単設定、基本設定、または印刷品質で、エコプリントを有効にすることができます。



- 1つのタブのエコプリント設定は、この機能を使用できる他のタブにも適用されます。
- 印刷品質では、一部のプリンターではトナーの節約量を選択できません。

- 管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** で、エコプリントを選択すると、すべてのジョブがエコプリントモードで印刷されるようにすることができます。ロック設定を使用する前に、簡単設定、基本設定、または印刷品質で、エコプリントを有効にする必要があります。

## 白黒印刷のバランス調整

この機能を使うと、グラフィックの明るさとコントラストを変更できます。これらの設定は、グラフィックイメージが明るすぎる、薄すぎる、または暗すぎる場合に便利です。テキストには影響しません。

### 白黒設定を調整する

- 1** 印刷品質タブの調整リストで、**[ユーザー定義]** を選択します。  
バランス調整ダイアログボックスのプレビューイメージに、明るさとコントラストの変更が表示されます。
- 2** 印刷ジョブのグラフィックイメージをより明るくしたり暗くしたりするには、明るさの値を入力または選択します。  
**+100** で最も明るくなり、**-100** で最も暗くなります。デフォルトは **0** で、中間レベルの設定です。イメージが明るすぎたり暗すぎたりする場合は、明るさを調整してグラフィックイメージをカスタマイズできます。
- 3** 印刷ジョブのグラフィックイメージに対する明暗のコントラストを増減するには、コントラストの値を入力または選択します。  
コントラストの設定を高くすると、グレースケールのスペクトルが減少し、明るいグレーはより明るく、暗いグレーはより暗くなります。コントラストの設定を低くすると、グレースケールのスペクトルが増加し、明るいグレーは暗く、暗いグレーは明るくなります。  
**+100** で最もコントラストが強くなり、**-100** で最も弱くなります。デフォルトは **0** で、中間レベルの設定です。コントラストの調整は、印刷時にグラフィックイメージがぼやける、または明暗がはっきりしすぎる場合に便利です。テキストには影響しません。
- 4** **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 5** **[OK]** をクリックして、新しい白黒の設定を保存します。

## テキストと図の効果

次の特殊設定が可能です。

### 文字を黒色で印刷

このオプションはすべての文字を黒色で印刷します。プリンターに送るカラーテキストのデータ量が減るため、印刷が高速化されます。白黒印刷では、この機能を使用することで、印刷された淡色テキストのきめ細かさが向上します。

#### 画像を黒色で印刷

このオプションは、すべての画像をグレースケールではなく黒色で印刷します。この機能は CAD アプリケーション向けです。



## 9 表紙/合紙



- この機能は、PCL 5c/5e または PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。
- お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

表紙/合紙タブでは、印刷ジョブに表紙や合紙を追加したり、OHPフィルムの中に用紙を挿入したりできます。また、各章の1ページ目を用紙のおもて面に設定することができます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

🕒 簡単設定	<b>表紙付け:</b> <input type="radio"/> 表紙のみ(F) <input type="radio"/> 表紙と裏表紙(D) 印刷面: 表紙 <input type="checkbox"/> 外側(T) <input type="checkbox"/> 内側(N) 裏表紙 <input type="checkbox"/> 内側(K) <input type="checkbox"/> 外側(E) 表紙の給紙方法: 自動 (指定なし) ▼	<b>合紙:</b> 印刷面: <input type="checkbox"/> おもて面(X) <input type="checkbox"/> 裏面(B) 合紙挿入位置: <input type="text"/> 合紙の給紙方法: 自動 (指定なし) ▼
☰ 基本設定		
🗪 レイアウト		
🖨️ 印刷品質		
<b>📄 表紙/合紙</b>		
📁 ジョブ保存	<b>OHP合紙:</b> <input type="checkbox"/> 合紙に印刷(O) 合紙の給紙方法: 自動 (指定なし) ▼	<b>章分けの挿入:</b> 章分けの最初のページ: <input type="text"/>
🔍 拡張機能		

標準に戻す(R)

### 表紙付け

この機能を使うと、文書の前後に表紙および裏表紙を追加できます。本文ページに使用する用紙とは別の厚手の用紙やカラー紙などを使い、表紙を印刷することができます。表紙の給紙元は、表紙/合紙タブの表紙の給紙元設定で指定します。

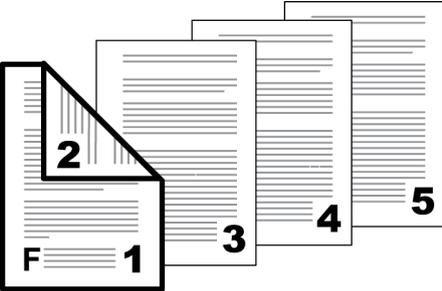
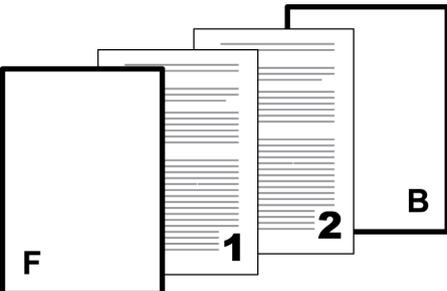
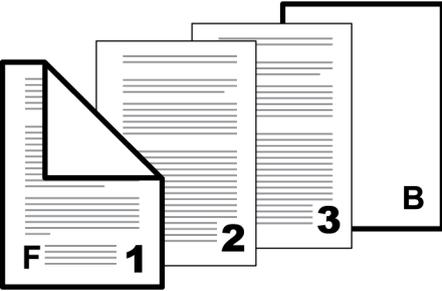
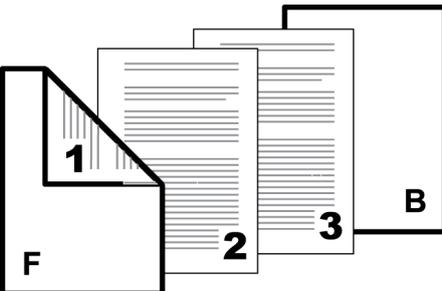
一部のプリンターでは、表紙/内側または裏表紙/外側オプションを使用して印刷するには、基本設定または簡単設定タブで両面印刷を選択する必要があります。



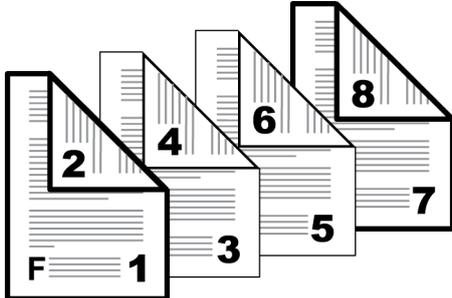
表紙付け機能は、OHP 合紙とは併用できません。

## 表紙付けオプション

チェックボックス選択	表紙挿入の種類
表紙のみ	白紙の表紙を追加します。 
表紙のみ 表紙: 外側	表紙の外側に印刷します。 
表紙のみ 表紙: 内側	表紙の内側に印刷します。 

チェックボックス選択	表紙挿入の種類
表紙のみ 表紙: 外側 表紙: 内側	表紙の両面に印刷します。 
表紙と裏表紙	白紙の表紙と裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙: 外側	表紙の外側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙: 内側	表紙の内側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 

チェックボックス選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙 表紙: 外側 表紙: 内側	表紙の両面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙: 内側	裏表紙の内側に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙: 外側	裏表紙の外側に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙: 内側 裏表紙: 外側	裏表紙の両面に印刷し、白紙の表紙を追加します。 

チェックボックス選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙 表紙: 外側 表紙: 内側 裏表紙: 内側 裏表紙: 外側	表紙と裏表紙の両面に印刷します。 

## 表紙を印刷する

- 1 表紙/合紙タブで、**【表紙付け】** アイコンをクリックします。
- 2 **【表紙のみ】** または **【表紙と裏表紙】** を選択して、印刷する表紙の種類を指定します。
- 3 表紙に印刷する場合は、印刷面 オプションから選択します。
- 4 表紙の給紙元リストから、表紙と裏表紙の用紙種類、または給紙元を選びます。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

## OHP 合紙

この機能を使うと、OHPフィルムの間に合紙を挿入できます。合紙は間紙とも呼ばれ、OHP フィルムに汚れや傷が付いたり、フィルム同士が張り付いたりするのを防ぎます。この機能は、OHP フィルムを手差しトレイから給紙して印刷する場合にのみ使用可能です。OHP フィルムと同じ内容を、挿入する合紙に印刷することもできます。



OHP 合紙機能は、表紙付け、合紙、および章分けの挿入と組み合わせて使用できませんのでご注意ください。

## OHP フィルム間に合紙を挿入する

- 1 **【基本設定】** > **【用紙種類】** で、**【OHP フィルム】** を選択します。



用紙種類が表示されない場合、給紙元リストで **【自動 (OHP フィルム)】** を選択します。用紙種類および給紙元リストは、**【デバイス設定】** > **【互換性】** で組み合わせられます。

- 2 表紙/合紙タブで、**【OHP 合紙】** アイコンをクリックします。

- 3 OHP フィルムと同じ内容を合紙に印刷する場合は、**【合紙に印刷】** チェックボックスをオンにします。
- 4 合紙の給紙元リストから、用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **【OK】** をクリックします。  
 プリンターの操作パネルには、OHP フィルムを手差しトレイにセットするよう、また必要に応じて選択したカセットに合紙の用紙をセットするよう、メッセージが表示されます。

## 合紙

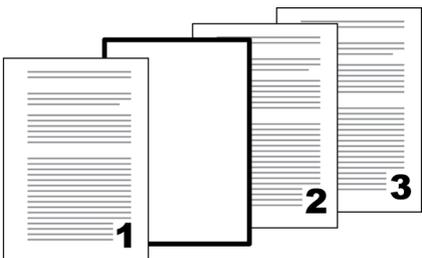
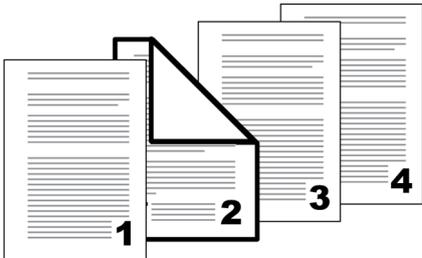
この機能を使うと、プレプリントされたページ、または別の種類の用紙を、印刷ジョブの中の指定された箇所に挿入できます。また、印刷ジョブ中に、挿入された合紙に印刷することも可能です。両面印刷機能を使用すると、合紙裏面にも印刷できます。

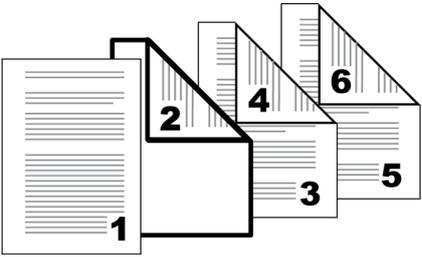
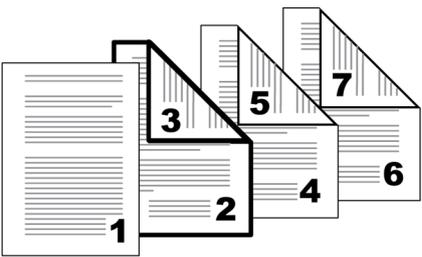
裏面オプションを使用して印刷するには、基本設定または簡単設定タブで両面印刷を選択する必要があります。



合紙機能は、OHP 合紙とは併用できません。

## 合紙印刷の組み合わせ

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙	合紙として白紙を挿入する。 
合紙 おもて面	合紙のおもて面に印刷する。 

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙 裏面	合紙の裏面に印刷する。 
合紙 おもて面 裏面	合紙の両面に印刷する。 

## 合紙を印刷する

- 1 表紙/合紙タブで、**[合紙]** アイコンをクリックします。
- 2 選択可能な印刷面オプションから選択します。
  - おもて面  
合紙のおもて面に印刷します。
  - 裏面  
合紙の裏面に印刷します。
- 3 合紙挿入位置に、差し込む位置のページ番号を入れます。合紙は、入力したページ番号とその前のページの間差し込まれます。
- 4 合紙の給紙元リストから、合紙の用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 章分けの挿入

この機能を使うと、両面印刷時に文書の各章最初のページを、強制的に用紙のおもて面に印刷できます。それぞれの章の最初のページを、最大 100 章識別します。この機能は、両面印刷やページ集約印刷時に適応できます。

ソートは、簡単設定タブと基本設定タブで自動的に有効になります。



章分けの挿入は、レイアウトタブのポスターおよび製本、または表紙/合紙タブの OHP 合紙とは同時に使用できません。

## 章 (指定したページ) で分けて印刷する

- 1 簡単設定または基本設定タブで、**[両面印刷]** を選択します。
- 2 表紙/合紙タブで、**[章分けの挿入]** アイコンをクリックします。
- 3 章分けの最初のページに、各章最初のページ番号を **2** から **999** の間で入力します。ページ番号は、カンマで区切って入力できます。



**[表紙付け] > [印刷面] > [表紙]** で、**外側と内側**が選択されている場合には、ページ番号は、**3** から **999** の間で入力します。

- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 10 ジョブ保存

ジョブ保存タブでは、プリンターに装着されているメモリーに印刷ジョブを保存できます。また、ジョブ名を選択してジョブ保存機能と併せて使用することもできます。このタブを使用して、アプリケーションから文書を印刷するときに適用するデフォルト設定を設定または変更できます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバにアクセスした場合に表示されます。

管理者は【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】>【ジョブ保存タブ】に移動し、選択したジョブ保存タブの設定を使用してすべてのジョブを保存または印刷することができます。



お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

ジョブ拡張機能

タイプ:  
試し印刷後、保留

ジョブ名:

アプリケーション定義(F)

アプリケーション名をジョブ名に使用しない(U)

ユーザー定義(C):  
[ ]

上書きモード:  
ジョブ名 + 日付と時間を付

標準に戻す(R)

### ジョブ拡張機能

ジョブ拡張機能は、印刷ジョブをプリンターのメモリーに保存するための各種設定や、それら印刷ジョブの印刷や再印刷を実行する機能を提供します。印刷ジョブは、

プリンターの操作パネルから後で簡単に印刷し直すことができ、機密文書の印刷を許可されたユーザーだけに制限することも可能です。

この機能は、高度な印刷管理をデスクトップから直接行うことのできる多層的なソリューションです。プリンターにジョブを保存することにより、コンピューターからジョブを再送信しなくても、操作パネルからいつでも再印刷することが可能です。

ジョブ拡張機能を利用する場合、デバイス設定にあるユーザー設定ダイアログボックスで、ユーザー名を設定することもできます。Windows のログインユーザー名を使用する場合 (デフォルト) は、ユーザー名の設定は不要です。



ジョブ拡張機能は、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

## ジョブ拡張機能のオプション



お使いのプリンターによっては、一部のオプションを使用できない場合があります。

オプション	必要なアクセスコードまたはパスワード	ジョブの印刷時	ジョブがメモリーから削除される時
ユーザーボックス	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除、または最大 31 日間
クイックコピー	なし	コンピューターから送られた時	プリンターの電源オフ時、ストレージデバイス容量の超過時、またはジョブ保持日数経過時
試し刷り後、保留	なし	ジョブが送られた時に 1 部印刷し、残りは後で印刷	プリンターの電源オフ時、またはジョブ保持日数経過時
プライベートプリント	あり	操作パネルからアクセスコードまたはパスワードが入力された時	プリンターの電源オフ時、印刷後、またはジョブ保持日数経過後
ジョブ保留	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除された時

## ユーザーボックス

この機能を使うと、印刷ジョブはプリンターの操作パネルから印刷されるまで保存されます。保存したジョブはストレージデバイスから 1 つまたは複数印刷できます。

印刷ジョブはストレージデバイスに 1 ~ 31 日間保存するか、または印刷後に削除できます。

ユーザーボックスは、プリンターのホームページで、またデバイス設定からアクセスするハードディスクまたは SSD 設定で、ユーザーごとに設定する必要があります。ユーザーボックスは最大 1000 個作成できます。

## ユーザーボックスにジョブを保存する

- 1 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]** をクリックします。
- 2 タイプリストで、**[ユーザーボックス]** を選択します。
- 3 **[設定]** をクリックします。
- 4 ユーザーボックス設定オプションを選択します。

特定のボックス番号を使用

ボックス番号とパスワードを入力します。

印刷時にボックス番号を入力

印刷を開始すると、ユーザーボックスダイアログボックスが表示されます。定義されたユーザーボックスリストからボックス番号を入力します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

印刷時にボックスリストから選択

印刷を開始すると、ユーザーボックスダイアログボックスが表示されます。リストからボックス番号を選択します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

ログインユーザー毎にボックス番号を確認

印刷を開始すると、ユーザーボックスダイアログボックスが表示されます。ボックス番号を入力します。パスワード保護を行うには、パスワードの確認を選択し、パスワードを入力します。



ハードディスクまたは SSD 設定ダイアログボックスで共有ボックスが選択されている場合、印刷時にボックスリストから選択、またはログインユーザー毎にボックス番号を確認のみを選択できます。

- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

**[ログインユーザー毎にボックス番号を確認]** を選択した場合、ドライバーはユーザーボックスからログインユーザー名を検索し、ユーザーボックス名として使用します。

- 一致したユーザー名が見つかったら、そのユーザーボックスを使用して印刷ジョブを実行します。
- 一致するユーザー名が見つからない場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限を確認します。管理者権限がある場合、ボックス番号および印刷ジョブ用のパスワードを入力するよう求められます。ドライバーは Windows のログインユーザー名を検索し、ボックス番号とパスワードとともに、この名前をドライバーのユーザーボックスリストに追加します。ユーザー権限の場合、印刷ジョブはキャンセルされます。ユーザーには管理者に問い合わせるよう促すメッセージが表示されます。

## クイックコピー

クイックコピーは、印刷ジョブのすべての部数を印刷した後、再び印刷できるようにするため、印刷ジョブを一時的にストレージデバイスに保存しておく、ジョブ拡張機能のオプションです。この機能は、ストレージデバイスが装着され、デバイス設定で選択されている場合に使用可能です。

クイックコピーは、文書の印刷後に追加部数を印刷することが必要になった場合などに便利です。その場合は、コンピューターからジョブを再送信することなく、プリンターの操作パネルから追加部数を設定して印刷できます。

保存可能なクイックコピージョブの数は、プリンターの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。クイックコピージョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリンターの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。



印刷ジョブは、同じユーザー名とジョブ名を持つ、ストレージデバイス内にあるジョブを置き換えます。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択します。



この機能を SD カードで使用する際は、デバイス設定で、**[RAM ディスク]** のチェックボックスをオフにします。デバイスの RAM ディスク設定もオフにする必要があります。

## クイックコピージョブを印刷する

- 1 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 2 タイプリストで、**[クイックコピー]** を選択します。
- 3 **[OK]** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

## 試し刷り後、保留

「試し刷り後、保留」は、ジョブ拡張機能の1つで、印刷ジョブを1部印刷してから残りの部数を印刷することで印刷結果を確認できます。この機能は、プリンターにストレージデバイスがインストールされているか RAM ディスクが設定されていて、デバイス設定で選択されている場合に使用可能です。

試し刷り印刷を行って確認した後は、コンピューターからジョブを再送信しなくても、プリンターの操作パネルから残りの部数を印刷できます。必要に応じて、印刷部数は変更できます。

保存可能な「試し刷り後、保留」ジョブの数は、プリンターの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。試し刷り後、保留ジョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリンターの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。

**!** 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択します。

## 試し刷り後、保留ジョブを印刷する

- 1 基本設定タブで、印刷部数を選択します。
- 2 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 3 タイプリストで、**[試し刷り後、保留]** を選択します。
- 4 **[OK]** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

## プライベートプリント

後で印刷するためのアクセスコードまたはパスワードと共に、ジョブをストレージデバイスまたは RAM ディスクに保存します。ストレージデバイスまたは RAM ディスク容量が限界に達した状態で、新しい保存用ジョブが送信された場合は、保存されている最も古いジョブが新しいジョブに差し替えられます。プライベートプリントジョブは、プリンターのリセットや電源オフ時、またはジョブ保持日数の超過時に削除されます。ジョブを削除しない場合は、ジョブ保留機能を選択します。

機密文書をプリンターに送信する場合、アクセスコードまたはパスワードを入力できます (アクセスコードまたはパスワードは、ジョブ名、ユーザー名と共に印刷ジョブに添付されます)。アクセスコードまたはパスワードの入力が求められるオプションを選択することもできます。プリンターの操作パネルでアクセスコードまたはパスワードが入力されるまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリンターのメモリーから削除されます。

保存可能なプライベートプリントジョブの数は、ストレージデバイスまたは RAM ディスクの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

**!** 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択します。

## プライベートプリントジョブを保管する

- 1 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 2 タイプリストで、**[プライベートプリント]** を選択します。
- 3 アクセスコードまたはパスワードを選択する方法を選択します。
  - **[印刷時にアクセスコードを入力]** または **[印刷時にパスワードを入力]** の選択を解除し、すべての印刷ジョブで使用する共通のアクセスコードまたはパスワードを指定します。

- **【印刷時にアクセスコードを入力】** または **【印刷時にパスワードを入力】** を選択し、各印刷ジョブに対して、異なるアクセスコードまたはパスワードを使用します。印刷ジョブを送信した後、表示されるプロンプトでアクセスコードまたはパスワードを入力します。

**4** **【OK】** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

## ジョブ保留

ジョブ保留は、ジョブ拡張機能の1つで、印刷ジョブをストレージデバイスに恒久的に保存しておき、再印刷を可能にします。また、アクセスコードまたはパスワードを使用して、ジョブが不正に印刷されるのを防ぐオプションも用意されています。この機能は、ストレージデバイスが装着され、デバイス設定で選択されている場合に使用可能です。

ジョブ保留で印刷したジョブは、プリンターの電源を一度切った後でも再印刷が可能のため、いつでも印刷できるようにしておく必要のあるジョブなどに便利です。ジョブ保留ジョブを削除するには、プリンターのメモリーから手動で削除します。

必要に応じて、アクセスコードまたはパスワードをジョブ保留ジョブに設定して、誰にも見られないようにジョブを印刷したり、許可されたユーザーだけに印刷を制限したりすることができます。アクセスコードまたはパスワードを使用すると、ユーザーがプリンターの操作パネルから印刷するまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリンターのメモリーに残ります。

保存可能なジョブ保留ジョブの数は、ストレージデバイスの容量に依存します。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。



印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、**【ジョブ名 + 日付と時間を使用】** を選択します。



この機能を SD カードで使用する際は、デバイス設定で、RAM ディスクのチェックボックスをオフにします。デバイスの RAM ディスク設定もオフにする必要があります。

## ジョブ保留ジョブを保管する

- 1** ジョブ保存タブで **【ジョブ拡張機能】** アイコンを選択します。
- 2** タイプリストで、**【ジョブ保留】** を選択します。
- 3** アクセスコードまたはパスワードを選択する方法を選択します。
  - **【印刷時にアクセスコードを入力】** または **【印刷時にパスワードを入力】** の選択を解除し、すべての印刷ジョブで使用する共通のアクセスコードまたはパスワードを指定します。
  - **【印刷時にアクセスコードを入力】** または **【印刷時にパスワードを入力】** を選択し、各印刷ジョブに対して、異なるアクセスコードまたはパスワードを使用します。



印刷ジョブを送信した後、表示されるプロンプトでアクセスコードまたはパスワードを入力します。

- 4 **[OK]** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

## ユーザー管理

ユーザー管理は、部署や部門ごとに権限を割り当てる部門管理とは異なり、ユーザーごとにジョブ制限を提供します。この機能は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ユーザー管理]** で「特定のログインユーザー名を使用」を選択した場合に、ジョブ保存タブに表示されます。

ジョブ保存タブで、印刷ジョブに対してユーザー名やパスワードを一時的に変更できます。デバイス設定で設定されたデフォルトのユーザー名やパスワードは変更されません。

### ユーザー管理を使用して印刷する

- 1 ジョブ保存タブで、ユーザー管理の下にある **[オプション設定]** をクリックします。
- 2 認証設定ダイアログボックスで、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## 部門管理

部門管理を使用すると、ユーザーまたは部署に部門コード (識別番号) を割り当てることができます。**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[部門管理]** で「特定のコードを使用」を選択した場合、この機能がジョブ保存タブに表示されます。

ジョブ保存タブで、印刷ジョブに対して部門コードを一時的に変更できます。デバイス設定で設定したデフォルトの部門コードは変更されません。

### 部門管理を使用して印刷する

- 1 ジョブ保存タブで、部門管理の下にある **[オプション設定]** をクリックします。
- 2 認証設定ダイアログボックスで、部門コードを入力します。
- 3 **[標準に戻す]** をクリックすると、デフォルトの設定に戻ります。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## ジョブ名

ジョブ名は、印刷ジョブごとの識別名です。これはプリンターの操作パネルからジョブを検索したり、印刷したりするのに便利です。ジョブ拡張機能のいずれかを使用して印刷ジョブを送信する場合、ジョブにカスタム名を割り当てたり、アプリケーションファイルの名前を使用したりできます。

アプリケーションで定義されるジョブ名にアプリケーション名を含めたり、除外したりできます。またプリンターのメモリー内のジョブが、同じジョブ名を持つ新しいジョブによって置き換えられないようにすることもできます。

### アプリケーション名をジョブ名に使用しない

この機能を使うと、ジョブ拡張機能で、ジョブ名からアプリケーション名を削除できます。【アプリケーション名をジョブ名に使用しない】を選択すると、選択したファイル名がジョブリストにわかりやすく表示されます。

### 上書きモード

この機能を使うと、保存された印刷ジョブが同じジョブ名を持つ新しいジョブによって、プリンターのメモリー内で置き換えられないようにできます。ユーザーが同じユーザー名とジョブ名を持つ2つの印刷ジョブを送信した場合、2番目のジョブは何のメッセージも表示しないで最初のジョブに置き換わります。これを防ぐために、上書きモードはジョブが送信された日付と時間を追加して自動的にジョブ名を変更します。また、この機能はコンピューターから印刷ジョブが送信された時間を追跡するのにも役立ちます。

選択したオプションは、アプリケーション定義またはユーザー定義が選択されたジョブ名に適用されます。上書きモードには、次のオプションがあります。

#### 既存のファイルを置き換える

このオプションは、同じユーザー名および同じジョブ名が存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリンターメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

#### ジョブ名 + 日付と時間を使用

このオプションは、現在の日付と時間をジョブ名の後ろに追加します。したがって、同じジョブ名の印刷ジョブがあっても上書きされません。

### ジョブ名を選択する

ジョブ拡張機能を使用する際に、プリンターの操作パネルに表示されるジョブリストから目的のジョブを確認できるよう、ジョブ名を設定することができます。選択したジョブ名は、ジョブがプリンターに送信される時に、印刷ジョブとともに保存されます。

- 1 【ジョブ保存】>【ジョブ名】で名前を選択します。

#### アプリケーション定義

アプリケーションの文書名をジョブ名として使用します。「アプリケーション名をジョブ名に使用しない」を選択すると、ジョブ名としてドキュメント名のみを表示するためにアプリケーション名が削除されません。

#### カスタム

このオプションは、ジョブごとに任意の名前を使用します。79文字以内でボックスに名前を入力します。

- 2** 同じジョブ名のジョブがプリンターのメモリーにすでに存在する場合は、上書きモードオプションを選択します。

#### 既存のファイルを置き換える

同じユーザー名および同じジョブ名のジョブが存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリンターメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

#### ジョブ名 + 日付と時間を使用

現在の日付と時間をジョブ名の後ろに追加します。



## 11 拡張機能

拡張機能タブでは、プリンターの機能を拡張させる特別な機能を選択できます。

【標準に戻す】をクリックすると、「EMF スプールを行う」と「静音モード」のチェックボックスは、プリンタードライバーの印刷設定で設定されたデフォルト設定に戻ります。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリンターによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。



### プロログ/エピログ



この機能は、PDF が PDL として選択されている場合に使用できます。

この機能を使うと、印刷ジョブの始めまたは終わりにコマンドファイルを挿入できます。コマンドファイルは、プリントデバイスに内蔵されている PRESCRIBE 言語のプログラミングコマンドを使用します。

コマンドファイルは一連の命令であり、プリンターはこれを解釈して所定の出力を生成します。たとえばレターヘッドのように、文書の決まった位置にロゴなどを印刷す

るために、プロログ/エピログコマンドファイルにマクロを挿入することができます。または、基本設定タブのカーボンコピー機能を使用している場合は、カーボンコピーに見出しを挿入できます。

印刷ジョブに追加する前に、お使いのコンピューターでプロログ/エピログファイルを使用可能にしておく必要があります。このファイルを作成するには、Windowsのメモ帳などのテキストエディターを使用します。コンピューターで【編集】をクリックして、プロログ/エピログファイルを編集できます。コマンドファイルを編集して保存すると、ローカルまたはネットワークにある既存ファイルの内容が上書きされます。

リストでプロログ/エピログファイルを選択して【削除】をクリックすることにより、ファイルを削除できます。プロログ/エピログコマンドファイルリストからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカルコンピューターに残ります。

## 挿入箇所オプション

挿入箇所は、選択されたプロログ/エピログコマンドファイルが、プリンターによって処理される印刷ジョブ内の場所です。コマンドファイルリストの各ファイルに割り当てられる挿入箇所は1つです。



ページのはじめとページの終わりの挿入箇所オプションは、PCL 5c/5eがPDLとして選択されている場合のみ使用できます。

### なし [未設定]

選択したコマンドファイルは印刷ジョブに挿入されません。この選択は、複数のコマンドファイルがある場合に、特定のコマンドファイルだけを使用する際に使用できます。コマンドファイルを使用しない印刷ジョブには、「なし [未設定]」を選択します。

### 文書のはじめ

コマンドファイルは印刷ジョブの最初のページに挿入されます。文書は2ページ目から印刷が開始されます。

### 文書の終わり

コマンドファイルは、印刷ジョブの最終ページに挿入され、文書の最終ページの後には印刷されます。

### ページのはじめ

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの前に挿入されます。

### ページの終わり

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの後ろに挿入されます。

### 奇数ページに挿入

「ページのはじめ」または「ページの終わり」を選択すると、このオプションを選択して、すべての奇数ページにコマンドファイルを挿入できます。

#### 偶数ページに挿入

「ページのはじめ」または「ページの終わり」を選択すると、このオプションを選択して、すべての偶数ページにコマンドファイルを挿入できます。

#### ページ指定

「ページのはじめ」または「ページの終わり」を選択すると、このオプションを使用して、指定されたページにコマンドファイルを挿入できます。テキストボックスにページ番号をカンマで区切って入力するか、またはハイフンで区切ってページ範囲を指定します。

## プロログ/エピログファイルの選択および割り当てをする

- 1 **[拡張機能]** > **[プロログ/エピログ]** で、**[参照]** をクリックしてプロログ/エピログファイル (.txt, .log) を選択し、プロログ/エピログデータファイルリストに追加できます。
- 2 リストからファイルを選択します。
- 3 挿入箇所、プロログ/エピログファイルを挿入する場所を選択するか、または **[なし [未設定]]** を選択します。
- 4 必要に応じて、手順 1 - 3 を繰り返してファイルを追加します。
- 5 **[OK]** をクリックします。

## プロログ/エピログファイルを編集する

コンピューターで、プロログ/エピログファイルを編集できます。

- 1 **[拡張機能]** > **[プロログ/エピログ]** で、リストからプロログ/エピログファイル名を選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 テキストエディターが開いてから、ファイルの変更を行います。
- 3 ファイルを保存し、終了します。



コマンドファイルを編集して保存すると、ローカルまたはネットワークにある既存ファイルの内容が上書きされます。

## プロログ/エピログファイルを削除する

- 1 **[拡張機能]** > **[プロログ/エピログ]** で、リストからプロログ/エピログファイル名を選択し、**[削除]** をクリックします。
- 2 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **[はい]** をクリックします。



プロログ/エピログデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカルコンピューターに残ります。

## ウォーターマーク

ウォーターマークは、目に見える画像またはパターンで、ページ上または文書全体に配置できます。デフォルトのウォーターマークを1つ選択するか、独自の文字列を作成するか、または画像を使用することができます。ダイアログボックスのプレビュー領域には、ウォーターマークがどのように表示されるのかが示されます。これはウォーターマークの外観や位置を変更するときに便利です。

すべてのウォーターマークは編集可能ですが、デフォルトのウォーターマークでは限られた数のオプションしか変更できません。

ウォーターマークに画像を使用する場合は、印刷ジョブに追加する前に、お使いのコンピュータで画像ファイルを準備しておく必要があります。

ウォーターマークの間隔には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、**[デバイス設定]** > **[ユーザー]** のユーザー設定ダイアログボックスで変更できます。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピュータで単位の設定は使用できません。

ロック設定を行う前に、ウォーターマークをオンにしておく必要があります。ウォーターマークがオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはウォーターマークが使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** で、**[ウォーターマーク]** を選択することで、すべてのジョブにウォーターマークが印刷されるようにすることができます。

## ウォーターマーク文字列を追加または編集する

- 1 **[拡張機能]** > **[ウォーターマーク]** で **[新規]** をクリックし、カスタムのウォーターマーク文字列を作成します。



デフォルトのウォーターマーク文字列のオプションは編集できません。カスタムのウォーターマーク文字列を編集するには、リストから目的の文字列を選択します。

- 2 希望するウォーターマーク名と文字列を入力します。
- 3 文字列のフォント、サイズ、スタイル、およびカラーを選択します。



カラーを黒または特定のグレースケール値に設定します。

- 4 「数」には、1 ページに表示されるウォーターマーク文字列の数を設定します。「間隔」には、文字列の間隔を指定します。
- 5 ウォーターマークの角度と、水平または垂直位置を設定します。  
「中心を軸に回転」オプションは、ウォーターマークの中心を回転軸として設定します。
- 6 「印刷面」で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

最初のページよりも後の、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

指定したページ

指定したページにウォーターマークを印刷します。

表紙の外側

表紙にウォーターマークを印刷します。このオプションは、表紙/合紙タブで「表紙付け」を選択した場合に使用可能です。表紙/合紙タブで、「表紙付け」を「表紙のみ/外側」または「表紙と裏表紙/外側」に設定した場合、「表紙の外側」が自動的に選択されます。

- 7** **[追加]** をクリックし、すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## ウォーターマークイメージを追加または編集する

- 1** **[拡張機能]** > **[ウォーターマーク]** で **[新規]** をクリックし、カスタムのウォーターマークイメージを作成します。



カスタムのウォーターマークイメージを編集するには、リストから目的のイメージを選択します。

- 2** ウォーターマーク名を入力し、ウォーターマークイメージを設定します。

- 3** 縮小/拡大と不透明度の値を指定します。

「自動」オプションは、イメージ全体をページの中央に合わせます。

- 4** ウォーターマークの角度と、水平または垂直位置を設定します。

「中心を軸に回転」オプションは、ウォーターマークの中心を回転軸として設定します。

- 5** 「印刷面」で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

最初のページよりも後の、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

指定したページ

指定したページにウォーターマークを印刷します。

### 表紙の外側

表紙にウォーターマークを印刷します。このオプションは、表紙/合紙タブで「表紙付け」を選択した場合に使用可能です。表紙/合紙タブで、「表紙付け」を「表紙のみ/外側」または「表紙と裏表紙/外側」に設定した場合、「表紙の外側」が自動的に選択されます。

- 6** [追加] をクリックし、すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## セキュリティ・ウォーターマーク

このプラグイン機能を使用すると、ほとんど目に見えない画像やテキストを背景に印刷できます。セキュリティ・ウォーターマークは、印刷されたページがコピーされた場合にのみ表示されます。この機能により、コピーが禁止されている印刷文書を識別したり、元の文書とコピーされた文書を区別したりすることが可能になります。標準では、6種類のテキストまたは画像のセキュリティ・ウォーターマークを使用できますが、ユーザー独自のセキュリティ・ウォーターマーク文字列を作成することもできます。

オプションのコンポーネントウィザードでは、プリンタードライバのインストール後、セキュリティ・ウォーターマークプラグインをインストールできます。

セキュリティ・ウォーターマークは、PCL XL が PDL として選択されている場合、「拡張機能」タブで使用できます。

セキュリティ・ウォーターマークはいつでも編集可能ですが、デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークに対して変更できるオプションには制限があります。

セキュリティ・ウォーターマークのガードパターン機能を使用すると、文書が不正にコピー、スキャン、またはファクス送信されたり、メモリーから印刷されたりすることを防ぎます。スキャン、ファクス送信、またはメモリーからの印刷が試行されると、印刷処理が停止し、プリンターの操作パネルにメッセージが表示されます。

セキュリティ・ウォーターマークを効果的にするには、印刷した用紙ではほとんど見えないが、コピーした用紙でははっきりと表示されるようにする必要があります。ドライバの設定は、印刷ジョブによって異なるため、セキュリティ・ウォーターマークを印刷する前に、パターンの濃度とコントラストを調整する必要があります。このパターン調整は、背景パターンを変更したとき、トナーまたはプリンターを交換したとき、または負荷の高い印刷を行った後にも行うことをお勧めします。

セキュリティ・ウォーターマークを選択すると、ドライバの各機能は次のように設定されます。

- 拡張機能タブのウォーターマークは、なしに設定されます。
- [印刷品質] > [品質設定] > [ユーザー定義] > [カスタム品質の設定] で、解像度は 600 dpi に設定されます。
- [印刷品質] > [品質設定] > [ユーザー定義] > [カスタム品質の設定] で、KIR はオフに設定されます。
- 簡単設定、基本設定、または印刷品質のエコプリントはオフに設定されます。
- 印刷品質タブの調整は、なしに設定されます。

また、この逆も同様です。これらの設定が変更された場合、セキュリティ・ウォーターマークの選択は「なし」に設定されて使用できません。

ロック設定を行う前に、セキュリティー・ウォーターマークをオンにしておく必要があります。セキュリティー・ウォーターマークがオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはセキュリティー・ウォーターマークが使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】で、【セキュリティー・ウォーターマーク】を選択することで、すべてのジョブでセキュリティー・ウォーターマークを印刷できます。

## セキュリティー・ウォーターマークを追加または編集する

- 1 【拡張機能】>【セキュリティー・ウォーターマーク】で【新規】をクリックしてカスタムのセキュリティー・ウォーターマークを作成します。



デフォルトのセキュリティー・ウォーターマークのオプションは編集できません。カスタムのセキュリティー・ウォーターマークを編集するには、リストから目的のセキュリティー・ウォーターマークを選択します。

- 2 セキュリティー・ウォーターマークの名前を入力します。

- 3 文字列は 3 行まで設定できます。

なし

このオプションは、行を空白のままにします。

ユーザー定義

このオプションでは、指定したテキストを入力できます。

他のあらかじめ定義されたオプションには、コンピューター名やユーザー名、ジョブ ID など、コンピューターまたはプリンタードライバーの情報が含まれます。

- 4 文字列のフォント、サイズ、スタイルおよび角度を選択します。

- 5 セキュリティー・ウォーターマークの背景のデザインを選択します。

ガードパターン

ガードパターンは、セキュリティー・ウォーターマークの背景として表示されます。

パターン

セキュリティー・ウォーターマークの背景を、あらかじめ定義された背景から選択します。

- 6 最適な濃度とコントラストの設定を次から選択します。

濃度

背景パターンの濃度を選択します。

## コントラスト

背景に印刷するウォーターマーク文字列のコントラストレベルを選択します。



**[サンプル印字]** をクリックすると、選択した濃度に対するコントラストオプションをすべて表示したページが印刷されます。これを、すべての濃度オプションに対して繰り返します。ほとんど目に見えないセキュリティー・ウォーターマークのサンプルを選択し、そのサンプルに合わせて設定を変更します。

- 7** 印刷面で、セキュリティー・ウォーターマークを印刷するページを選択します。

### すべてのページ

文書の各ページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。

### 最初のページのみ

文書の最初のページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。

### 最初のページ以外すべて

最初のページよりも後の、すべてのページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。

### 指定したページ

指定したページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。

### 表紙の外側

表紙にセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。このオプションは、表紙/合紙タブで「表紙付け」を選択した場合に使用可能です。表紙/合紙タブで、「表紙付け」を「表紙のみ/外側」または「表紙と裏表紙/外側」に設定した場合、「表紙の外側」が自動的に選択されます。

- 8** ウォーターマークの文字列の 1 行目をページの下部に印刷する場合は、**[フッターにも印刷]** を選択し、配置のオプションを設定します。これは、通常セキュリティー・ウォーターマークそのものは印刷ページに表示されないため便利です。
- 9** 文書の内容がページ全体にわたる Microsoft PowerPoint や Internet Explorer などのアプリケーションでは、**[上書きモード]** を選択します。セキュリティー・ウォーターマークは文書データの上に重ねて印刷されているため、コピーではっきりと表示されます。
- 10** **[追加]** をクリックし、すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

## ステータスマニター通知

ステータスマニターは、ジョブの印刷中にプリンターのステータス情報を表示します。プリンターのイベントに、サウンドと音声による通知を設定することもできます。

サポートされているプリンターごとに、ステータスマニターを起動できます。同時に複数のステータスマニターを表示できます。

## ステータスマニター通知を設定する

- 1 拡張機能タブで、**【ステータスマニター】**をクリックします。
- 2 ステータスマニター通知で、**【イベントの通知を有効にする】**を選択します。
- 3 サウンドまたは音声による通知を追加するには、有効なイベントリストからイベントを選択します。
  - **【カバーオープン】**
  - **【紙づまり】**
  - **【用紙切れ】**
  - **【スリープ】**
  - **【トナー切れ】**
  - **【トナー残量少】**
  - **【未接続】**
  - **【印刷完了】**
  - **【その他】**
- 4 「サウンドファイル / 読み上げる」テキストの下で、選択したイベントの右側をクリックし、次に進みます。
  - サウンドファイルを追加するには、サウンドファイル (.wav) の場所を入力するか、**【参照】**をクリックして、コンピューターに保存しているサウンドファイルを見つけます。
  - 音声を追加するには、任意のテキストを入力します。Microsoft 社の音声合成機能は、入力したテキストを音声で読み上げます。
- 5 他のイベントにサウンドまたは音声を追加するには、手順 3 と手順 4 を繰り返します。
- 6 **【OK】**をクリックします。

## ステータスマニターを表示する

- 1 ステータスマニターでは印刷ジョブやプリンターの情報を表示し、確認できます。
  - ジョブタブには、それぞれの印刷ジョブの情報が表示されます。ジョブをキャンセルするには、ジョブを右クリックして**【キャンセル】**をクリックします。
  - 給紙タブには、各カセットと手差しトレイの情報が表示されます。

- トナータブには、各トナーのレベルが表示されます。
- 警告タブには、「待機中」またはイベント情報が表示されます。複数のイベントがある場合、各イベントをクリックすると詳細が表示されます。

**2** 矢印をクリックして、詳細の表示・非表示を切り替えます。

**3** オプションのリストを表示するには、ツールアイコンをクリックして、使用可能なオプションから選択します。

#### プリントシステムの設定

ネットワークに接続している場合、ウェブブラウザを開いてプリンターのホームページを表示します。このオプションは **USB 接続** では使用できません。

#### 通知

「ステータスマonitor通知」ダイアログボックスを開きます。

#### 終了

ステータスマonitorを閉じます。

## EMF スプール

エンハンスメタファイル (EMF) は、Microsoft Windows オペレーティングシステムによる印刷で使用されるスプールファイル形式です。アプリケーションから印刷ジョブが送られると、ジョブはスプールファイルに転送されます。アプリケーションがスプールファイルに書き込み中に、プリンタードライバーがスプールファイルから読み取ります。複数の文書や大量の文書を印刷する場合、この機能を使用すると、プリンターがまだ文書を印刷している間でもユーザーはアプリケーションに素早く戻ることができます。



「EMF スプールを行う」は、PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスでパススルーモードを選択した場合は使用できません。

## EMF スプールを選択する

- 1** 拡張機能タブで、**[EMFスプールを行う]** を選択します。
- 2** **[OK]** をクリックします。

## 静音モード

静音モードのチェックボックスをオンにすると、通常よりも静かなモードで印刷できます。プリントデバイスの操作パネルでジョブごとに静音モードを許可すると、印刷時にドライバーの静音モードが有効になります。

## クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする

クライアントのカスタム用紙サイズとは、クライアントコンピューターに保存されている原稿サイズ設定です。ローカルまたはサーバーのカスタムサイズのどちらかを選択できます。この機能は、クライアント/サーバ環境のクライアントコンピューター側で使用します。

**1** 拡張機能タブで、次のいずれかを行います。

- ドライバーでローカルに設定したカスタム原稿サイズを使用するには、【クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする】を選択します。
- サーバーからカスタムサイズを選択し、ドライバーで作成された印刷ジョブに適用するには、【クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする】チェックボックスをオフにします。サーバープロファイルは読み取り専用です。

**2** [OK] をクリックします。

## クライアント・プロファイルを有効にする

クライアント・プロファイルとは、クライアントコンピューターに保存されているプロファイル設定です。この機能は、クライアント/サーバ環境で、クライアントコンピューターとサーバーの両方で使用できます。

サーバーでは、管理者はサーバーまたはクライアントプロファイルを使用するようにクライアントコンピューターのデフォルト値を設定できます。

クライアントコンピューターでは、ローカルプロファイルまたはサーバープロファイルを使用できます。ローカル管理者またはドメイン管理者などの管理者権限を持つアカウントでログインした場合は、クライアントコンピューターにサーバーの設定が適用されます。

**1** 拡張機能タブで、次のいずれかを行います。

- ドライバーからローカルでカスタムプロファイルを選択して印刷ジョブに適用するには、【クライアント・プロファイルを有効にする】を選択します。
- サーバーからプロファイルを選択して印刷ジョブに適用するには、【クライアント・プロファイルを有効にする】チェックボックスをオフにします。サーバープロファイルは読み取り専用です。

**2** [OK] をクリックします。



### お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

**お客様相談室 ☎0120-534-881**

受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタードライバー/ソフトウェアの操作に関しては

**サポートセンター ☎0120-229-330**

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

---

## 理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6112

ホームページ <https://www.riso.co.jp/>